

最後になりましたが、親切に指導して下さいました訓練校の先生方、キャタピラー三菱の皆さん、そしてこのような機会を与えて下さった国際協力事業団の方々に、心から感謝致します。



嶋田千草(ボリヴィア サンファン)

1. 研修機関 (1) 前期 東京農業大学農学部栄養学科管理栄養学研究室
(2) 後期 同上 及び 新宿調理師専門学校(夜間部)
2. 研修期間 昭和57年4月～昭和58年9月
3. 研修職種 生活改善(栄養学)
4. 当初の研修計画(テーマ、研修内容等)

前期

- (1) 講義…給食管理(-), 栄養指導, 病態学各論, 栄養学総論, 給食管理(-), 栄養生理学, 病態栄養学総論, 特殊栄養学(-), 公衆衛生学, 食品衛生学(-), 調理学
- (2) 実習…調理実習(-), 栄養指導実習, 給食管理実習
- (3) 調査…東北は岩手県の一ノ関, 花泉, 藤沢地区に於ける栄養調査に参加

後期

- (1) 通信教育栄養士講座
 - (2) 新宿調理師専門学校, 日本料理の聴講及び実習
 - (3) 東京農業大学厚木農場に於て1週間の泊り込み給食実習
5. 研修概要(具体的研修内容及び成果)

昭和57年4月5日, 皆より一足遅れて成田着。私達の研修は横浜移住センターに於ての1週間のオリエンテーションに始まり, 12日は配属された研修先へとそれぞれ向かいました。

私は全研修期間を東京都世田谷区に位置する東京農業大学農学部栄養学科「栄養管理栄養学研究室」で研究生として研修を受けさせて頂きました。

前期前半(4月～9月)は来日したばかりなので, 講義内容をあまり理解出来ないのではないかと先生の優しい心使いもありまして, 実習を主とした授業を聴講させて頂きました。

講義は90分を1時限とする週3時限, 科目は調理学, 給食管理と栄養指導, 後は調理実習, 給食管理実習と栄養指導実習でした。

調理学: 味覚, 味の分類, 調理による香りの変化, 香辛料の作用, 食品に含まれる色素, 酵素による褐変, テクスチャー, 炭水化物(澱粉の構造, 糊化, 老化), 蛋白質, 脂質, 無機質,

調理操作論、等です。

給食管理：集団給食における給食管理の意義計画、組織、食事計画の基礎項目、(喫食者の特性の把握、供食方法の検討、調理条件、食費の計算、料理の選択)、献立作成、表の書き方、分量の決め方、食品購入、計画、方法、発注の算出、購入食品の検収、保管等。

栄養指導：指導の目的、栄養士の役割、食生活の現状と問題点、改善法、その計画、実施、評価、等。

調理実習：和風、洋風、中華料理の基礎 材料の切り方を始め、前処理、調味、盛り付け、試食、献立作成の演習、等。

栄養指導実習及び給食管理実習：班にわかれ献立作成、試作(20食)、アンケート作成、材料発注、検収、実習(80食)、アンケートのまとめ、発表、と1通りの給食作りを経験し、調理時の問題点、器具使いの難しさ等を知る事が出来ました。

9月7~12、6日間に渡り研究室の先生方及び学生(短英、学部)と東北は岩手県の栄養調査に特別参加させて頂きました。毎年夏休み中のこの時期に行なわれるもので、塩分の摂取状態を主としたアンケート調査、聞き取り調査、食事回収の3つの作業を対象地区：藤沢、花泉、一の関に於て実施したものです。この調査では、田舎の食生活の実態をほんの一部ではありますが把握出来た気がします。又感動的だったのは、当地区の方々の健康管理の熱心さで、「血圧友の会」と称する集会を設け、塩分の過剰摂取に因る成人病対策等の研究を懸命に行なっている事でした。

調査の結果、前年に比べ摂取量が低下しつつあるとの事、栄養指導も良い傾向に向っているようです。

来日後6ヶ月が過ぎた前期後半には、講義を中心とした授業を聴講させて頂きました。

生理学：細胞の組織、脳、神経、動脈、心臓などいわゆる臓器の構造、働き、等。

病態学各論：各臓器の疾患、種類、症状、因子、合併症、及び食事療法。

給食管理：集団給食施設の定義と関連法規、給食の分類と特徴、給食施設に於る栄養管理(栄養基準量の設定、食品構成、献立作成、効果判定、評価)及び衛生管理。

栄養生理学：エネルギーの定義及び代謝、内分泌(ホルモンの定義、役割、分類)、食物の消化吸収、等。

病態栄養学総論：病態栄養学、則ち病的な状態について研究する学問、その状態の解明、それに伴



う栄養対策、等。

特殊栄養学：妊婦の栄養及びエネルギー所要量、新生児の化学的成長、生理機能、精神、運動機能等の発達、栄養状態の判定、小児の疾病、症状、及び治療法、等。

公衆衛生：妊婦の健康管理、疾病、症状、及び予防法、成人保健、(成人病の特徴、疾病予防)、
消化器、中枢に関する伝染病、母性保健等。

食品衛生学：食中毒の分類、発生状況、原因食品、病因物質、罹患率、食中毒の症状等。

授業中多少お用を漕いだ事もありますが、新しい知識を得られるので講義聴講はとっても楽しかったです。

後期昭和58年4月～9月は通信教育、栄養士講座を受けさせて頂きました。教材はテキスト6巻：公衆衛生学、基礎調理、栄養学、食品衛生学、食品学、と栄養指導、副教材として栄養士ハンドブックと日本食品成分表、その他課題集、練習問題集です。

学習の進め方としまして、まずテキストを読み理解出来た時点で課題制作に入り、出来上がった課題は郵便で総合通信教育センター内の発行所「日本調理学院」まで送り、採点された後返送して頂くのです。

学習中一番困ったことは漢字の難しさと、有機化学に詳しくない事でした。が、研究室の先生方に指導して頂き、何とか2/3を終える事が出来ました。

4月下旬から7月中旬は、お世話になっております先生のお計らいによりまして、新宿調理師専門学校で、特別に日本料理の勉強を受ける事が出来ました。週3回、内2回は夜間部で、何れも大学を早退して行きました。

8月18日～25日は、神奈川県にある農大農場に於きまして、1週間の泊り込み給食実習に行きました。

1日3回、1回320食を栄養士1人、先生1人、学生7人の計9人で作るのです。朝は5時起床、5時30分厨房入り、食器を並べ、朝食の配膳、喫食者食事中昼食の切り込み等、前処理、朝食の後片付休憩、10時30分再び作業開始、昼食の準備、夕食の切り込み、前処理、昼食の後片付、休憩、15時30分夕食の準備、翌日の朝食の仕込み、夕食の後片付、廃棄物の処理、以上が日課で、これを7日間繰り返したのです。重労働の上朝が早い為休憩時間にはしっかり睡眠の補給をしました。

集団給食用の器具は、通常家庭で使用しているものに比べ数倍も大きく、1人では持てないものもあ



東京農業大学学長より修了証書を授与される。
(写真左より鈴木学長、岩見、嶋田研修生、
斎藤教授(於)学長室にて)

り、給食作りの大変さをしみじみと思い知らされました。

6. 当初の研修計画と実際の研修内容とを比較して

来日当初は、栄養学の予備知識もなく、何から始めて良いのかわからない有様でした。、赤羽先生をはじめ栄養学科の諸先生方の御指導によりまして、希望以上の研修を受ける事が出来ました。

料理のレパトリーが増えたこと、給食作りの実態、栄養調査の実施、日本語の上達、沢山の日本の方との交流、等々、見るもの、聞くもの1つ1つが勉強になり、沢山の収穫を得る事が出来ました。

欲を言うと切りがありませんが、大学での試験期間中、他の学生と同様にテストを受けられなかった事が残念です。

7. 合同研修会について

合同研修会…短期間ではありますが、私達研修生にとっては唯一の楽しみと言っても過言ではないと思います。

日本に来て知り合い、逢った回数も少ないのですが、何故か同期研修生には親しみを感じ、合同研修会通知を首を長くして待ちました。その都度研修先に於ての研修、生活状況、失敗談、喜怒哀楽等の意見交換、寝る時間も惜んで夜遅くまでお話しに花を咲かせたものです。

57年4月、日本着、先輩方の出迎え、1週間のオリエンテーション、東京見物、レポート作成。

秋の研修会…先輩方の終了式、スポーツ大会、レポート作成、2泊3日の箱根旅行、個人面接。

58年春の研修会…前期研修反省会、レポート作成、13回生出迎え。

夏の研修旅行…東北は松島、中尊寺、毛越寺、巖美溪、盛岡、十和田湖、青森リンゴ試験場、ねぶた祭り。毎回とても楽しく過ごしました。

8. 本邦での生活状況

研修期間中は、大学より徒歩約20分の或るアパートで、他国研修生3人と共に下宿生活を送りました。隣りは銭湯、近くにはデパート、駅、と、とても便利なところでした。

自炊に慣れていない私は、始めとても不安でしたが、どうにか生活して行けるものです。日本は信じられない程便利な国で、お金さえあれば暮ししやすい所です。

生活の必需品を1から買い求めなければならなかったのが、初めは大変でした。

来日当初は、電車のキップも買えなかったのですが、失敗を何度も繰り返しながらも、地図を頼りに色々な所に行きました。又一時は友達が出来ず「来る所を間違っただけでは……」と思った事もありますが、大勢の人と知り合い、交流を持って、数知れぬ思い出を作ってくれ、皆様には感謝の気持ち一杯です。

9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

合同研修会などで知ったのですが、思い通りの研修を受けられない人がいるようです。国を出る時点で研修受け入れ先の具体的な情報が得られれば良いかと思います。

欲を言うと切りがありませんが、研修期間が2年だったら良かったと思います。研修期間中、何不自由なく、素晴らしい研修を受けさせて頂き、更に期間延長を要望することは虫が良い考えかも知れませんが、1年半の期間は中途半端だと思いますし、それだけを心残りに帰られた先輩が少なくともいたはずだと確信しております。

今後この研修制度で日本に来られる方々が、同じ思いをしない為にも、期間延長を検討して頂ければ、この上なく幸福です。1人でも多くの日系人の方がこの素晴らしい国での生活を体験し、視野を広められるよう末長くこの研修制度を続けて下さい、お願い致します。

10. 所感(帰国後の抱負を含め)

「光陰、矢の如し」と言われますが、1年半が過ぎたなんて嘘のようです。

振り返れば、まだ肌寒く、桜も散り始めていた昨年の春、生れて初めて両親の故郷である日本の空気を吸う事が出来ました。緊張していたせいか、時差ボケもなく、日本での生活が始まりました。

速発に走る電車、無数の車、クロスする線路と道路、脇目もふらずセカセカと歩く人々、「なんとアワただしい国なんだろう」これが私の第一印象でした。

当然ではありますが、周りが日本人ばかりなのでビックリ、皆同じ顔に見えるのです。又人の足の早さには驚き、始めは小走りでついて行ったものです。

日本は四季があり、春は桜、夏は海、秋は紅葉、冬は雪、季節折々のスポーツ、レジャー等も体験出来、その素晴らしさに魅せられました。

見る物、触れる物、何もかもが珍らしく、とっても良い勉強になりました。又大勢の方々と知り合え交流を持った事は、私にとって最大の喜びです。

研修中得た知識を帰国後どのように活用出来るかわかりませんが、私の夢は、移住地日系人の栄養調査を実施することです。

多くの方々の暖かい御支援と御協力により、希望通りの研修を無事終える事が出来ました。御指導下さいました諸先生方、沢山の思い出を作って下さったお友達に心から御礼申しあげます。皆様御健康に気をつけ、いつか再会出来ると信じ、その日が1日も早く訪れる事をお祈り致します。

最後になりましたが、研修期間中終始見守って下さいました国際協力事業団関東支部の研修生担当者をはじめ職員の皆様へ心から感謝と御礼を申し上げます。「本当にありがとうございました。」



島 袋 義 和 (ポリヴィア オキナワ)

1. 研修機関

(1) 前期 農林水産省十勝種畜牧場
(草地畜産実技研修所)

(2) 後期 熊本県立農業大学校付属畜産高等研修所

2. 研修期間 昭和57年4月～昭和58年9月

3. 研修職種 畜産(肉牛)

4. 当初の研修計画(テーマ、研修内容等)

昭和57年4月13日、希望通りの研修先に配属され、当初の研修計画としまして

- ① 早く日本語を身につけること
- ② 祖国日本の環境に慣れ、親交を深めること
- ③ 私自身ボリヴィアで畜産経営をしていることから、日本の家畜を知ること、さらに、日本の家畜管理法、家畜の選抜法、並びに、家畜改良増殖法、家畜人工受精を勉強すること

5. 研修概要(具体的研修内容及び成果)

1982年4月5日、祖国日本に到着後、希望通りの研修先に入所し、1年半の研修予定を下記の通り行ないました。

- ① 十勝、草地畜産技術研修所で前期研修を受ける。

<研修内容>

- | | |
|----------|------------------|
| ア 家畜飼養管理 | エ 家畜改良増殖法による繁殖生理 |
| イ 家畜栄養 | オ 家畜人工受精 |
| ウ 家畜の育種 | |

<研修成果>

この種畜牧場では、繁殖牛が主で、馬、牛の肥育試験、直接検定事業、人工受精、それに最も新技術で、牛の人工妊娠技術(受精卵の移植E-T)等を行っていたが、自分は家畜人工受精に興味を持ち、毎日の飼養管理と共に、牛の観察が重点なので、発情牛の見分け方、種付適期の技術などが大変勉強になりました。

- ② 熊本県立農業大学校付属畜産高等研修所で6ヶ月間の実地研修に入る。

研修内容は、前期と変わりなく、実地研修では、直接家畜管理当番勤務を実施し、経営のやり方等到大変参考になりました。

6. 当初の研修計画と実際の研修内容とを比較して

将来、肉用牛繁殖を中心に経営を進めて行きたいことから、入所時肉用牛の専攻コースを選び、畜産経営に必要な専門科目に重点をおいた学習およびプロジェクト活動を取り入れた実験、実習又は技術理論も行いました。したがって、当初の研修目的からして、予想通りの研修が出来た事に感謝しています。

7. 合同研修会について

研修期間中、当初は日本語が不十分な事から時には迷い、さびしさを感じた日々が何度かありましたが、合同研修会で同じ仲間達と会い、交換会や研修旅行が出来た事は、最高に楽しみ、思い出に残るものでした。

8. 本邦での生活状況

1年半の研修に当っては、研修所内での寮生活で、場内で実習又は講義を受け、生活面での不自由はなく、交通の不便は多少あったとしても、研修所の先生方のお世話で行きたい所には送って頂き、本当に感謝しております。

9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項は特にはないが、自分自身研修期間中困った事は、日本語が不十分であったことです。日本語を出来るだけ勉強して来る事が必要だと思います。

10. 所感(帰国後の抱負を含め)

昨年4月、桜の花咲く季節に第12回移住者子弟技術研修生として、19年振りに日本へ帰国、まだ幼ない頃、両親に連れられボリビアへと移住し、故郷の事を全く知らなかった自分にとっては、表面的ながらも日本の発展ぶりを自分の身をもって確める事が出来た事は、何より心に残るものです。

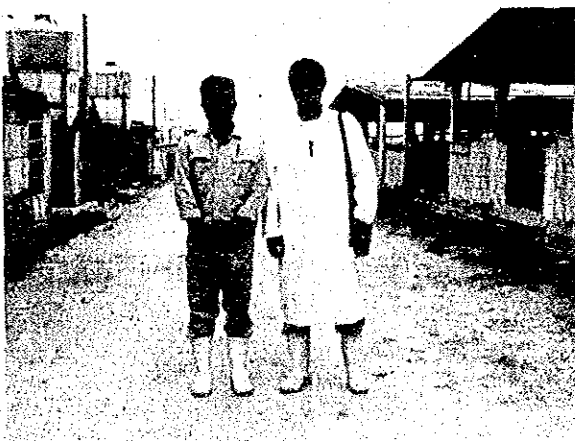
1982年4月5日、祖国日本に到着後、横浜にある海外移住者センターで3日程、事業団の職員方、先輩らの体験、研修計画、その他アドバイスを受けました。

その後、北海道にある研修先、十勝種畜牧場(草地畜産実技研修所)入所、農業大学校畜産専門課程の学生と同様、15名と一緒に、酪農又は肉用牛の専攻コース別に(1年間)研修を受けました。日課としては、畜産経営に必要な専門科目に重点をおいた学習およびプロジェクト活動を取り入れた実験実習を課し、近代的経営の畜産農家牧場等に派遣され、体験実習を行なう事が出来ました。授業については、最初の頃は日本語が不十分で、特に専門の教科書を手渡された時は、大きなショックを受けました。最初の頃は、講義を聞いていても意味が理解できず、困難するばかりでした。

しかし、月日がたつにつれて、段々と私の苦勞していた日本語や生活等に不便さを感じなくなりました。それは先生方の良き御指導、仲間等の助力と励ましがあったからだと思います。本当に感謝をしております。

1年間の前期研修を終え、1983年4月12日から6ヶ月間の実地研修を熊本県立農業大学校村属畜産高等研修所でお世話になりました。

実践に基づく習得を基本方針とし、畜産経営に必要な技術と企業的能力を培い、自主性のある近代的畜産人を養成することから大変厳しい所でしたが厳しかった中、勉強になったものが多かった。



以上、1年半の研修を通して感じたことは、ボリヴィアと比較した場合、日本の農業は、経営規模が小さく、飼育形態が違うため、日本で学んだ技術を全部生かせることには疑問に思います。

しかし、国土が狭いため日本の集約的農法による単位面積当りの収量の多い事、肉牛肥育においても1日当り増体量、又は肉質の向上と産乳量を目指して改良を進めている事等感心しました。現在の畜産経営は、品種改良から始まり、いかに生産量を高めることを重点に、日本で得た技術、知識を帰国後精一杯活用して生かしたいと思えます。

この研修に当って、色々お世話して下さった国際協力事業団の皆様、親切に御指導して下さいました。研修所の先生方に深く感謝しております。本当にどうも有難うございました。

善 村 エミリオ (パラグアイ チャベス)



1. 研修機関 (1) 前期 山口県経済農業協同組合連合会
農機センター
(2) 後期 同上
2. 研修期間 昭和57年4月～昭和58年9月

3. 研修職種 農業機械(修理、整備)
4. 当初の研修計画(テーマ、研修内容等)

当初私の研修計画は

- ① 農業機械全般の修理、整備技術
- ② 電気工事
- ③ 日本に早く慣れる事
- ④ 友達を作る事

5. 研修概要(具体的研修内容及び成果)

- (1) 山口県小郡町山口県経済連農機センターにおいて、農業機械全般の修理、整備を手伝い技術を勉強しました。
- (2) 岡山市全農岡山講習所で、農業機械基礎講習とガス溶接講習会を修了しました。
- (3) 北海道旭川市全農北海道講習所で普通型コンバイン整備技術講習会を修了しました。
- (4) 山口県立東部高等職業訓練校でアーク溶接、農業機械整備技能研修、トラクター整備技術、電装品整備技術講習会を修了しました。
- (5) 福岡市の北海フォードトラクター株式会社の修理場で、フォードトラクターの修理、整備、油圧装置の調整を勉強しました。
- (6) トラクター、コンバイン及びスーパーカ(ホレシハベスタ)の整備技術講習会がメーカーにより

農協で行なわれたのに参加しました。

(7) 山口県農業試験場で、農業機械新機種発表会と実演会に参加しました。

(8) 佐賀県川副干拓地を訪ね、小麦の大型コンバインによる刈取りを、現地視察し研修しました。

(9) 岡山市全農岡山講習所で、農業機械化新技術実演研究会に参加しました。

6. 当初の研修計画と実際の研修内容とを比較して

私の研修内容とほぼ計画に近い勉強が出来ました。

まだ学びたいものは電気工事、土壌に肥料、コンピューターの基礎

7. 合同研修会について

日本に来て1年半の内に5回の合同研修会により18名あるいは先輩や後輩達と会い、いろいろ語り合ったり意見交換などをし、又春、夏期素晴らしい研修旅行により日本の文化や歴史に触れる事で、社会的知識を得る事が出来たと思います。

8. 本邦での生活状況

(1) 1年間は日本の家庭生活で、全くパラグアイと違うので、下宿のおばさんとおじさんに日本の生活や習慣や礼儀を習い、とってもいい勉強になり深く日本生活がわかるようになりました。

(2) 6ヶ月間はアパートの1人の生活で、生活費はかかりましたが、いい経験でした。

(3) 1ヶ月間は岡山講習所の寮で団体生活を経験し、とってもいい思い出になりました。

9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

要望としまして、先輩の方々からも意見がありましたが、出来れば研修期間を2年制度にして頂きますと、私達研修生側としましては、もっと充実した研修の成果を得る事が出来ると思います。

10. 所感(帰国後の抱負を含め)

私の移住地は、昭和28年から入植が始まりました。私が生まれ育った入植地はパラグアイ国イタプア県カピタンミランダ郡チャベス地区、入植から30年の父母達は、原始林を伐採し畑を開き色々な農作物を作ってきましたが、今一つと言った作物がなかったせいで、農家も苦勞してきました。

移住地では農家が大型農業機械化になったのはまだ10年位前からです。主に大豆、小麦の連作で経営がなりたつようになったからです。私も子供の頃から親と一緒に農作業をしていたせいか土いじりや機械が好きでした。

最近是我国ではインフレが激しく、農業作物の価格も安定してなくコストが高くなり、数年横遺しているため農家は資金繰りに苦勞している。又せつ



かく広げた土地を借金返済のため手放す家が多くなった。

移住地でも長年の連作大豆、小麦で土がやせてきて肥料の必要と農薬を多く使うようになり、農機具類が故障すると修理のために30キロも行き、仕事は3日位出来ない事があります。今から農業を続けるためには、日本の優れた技術を勉強し取り入れることが必要と思い、日本で農業機械の修理、整備技術、土壌と肥料、電気、この中の一つを勉強したいと思いました。

昭和56年国際協力事業団アスンシオン支部エンカルナシオン支所に移住者子弟研修生募集に応募しました。翌年の2月良い通知をもらい、無事合格したと聞いた時、よし俺はやるぞと心の中で誓いました。

昭和57年4月1日、パラグエイ国国際空港より研修生3名は事業団の職員の皆さんに見送られました。4月2日に成田国際空港に着き、空港より横浜にある海外移住センターへとバスで直行しました。

私にとっては生まれて初めての日本、センターではオリエンテーションがありました。

4月13日山口県小郡町の山口県経済農業協同組合連合会農機センターで研修が始まりました。経済連に1年半のスケジュールを作ってもらいました。農機センターでは農機具全般の修理、整備を手伝い技術を勉強しました。先生には県内で行なわれた農機具の実演会や新機種発表会に連れて行ってもらいました。県農業試験場を見物しました。

私の帰国後の計画としては、日本で学んだ技術を土台にして大型農業機械化を続けたいと思います。我が国の農業はこれからと言うところですので、日系人の我々は先頭に立ち指導して、国、移住地の発展のために力一杯仕事し、帰国後もこれ以上に次々に新技術を勉強し、取り入れていく必要があると思います。

最後となりましたが、このような機会を与えて下さいました国際協力事業団の皆様を初め、山口県経済連の皆様ならびに御指導下さいました訓練校、全農講習所、北海道フォードトラクターの講師の方々に心から御礼申し上げます。





岩見美砂子(パラグアイ アスンシオン)

1. 研修機関 (1) 前期 東京農業大学農学部栄養学科食品原科学
研究室, 農業拓殖学科熱帯農業第一, 第
二研究室
(2) 後期 同大学食品原科学研究室

2. 研修期間 1982年4月～1983年9月

3. 研修職種 食品分析

4. 当初の研修計画(テーマ、研修内容等)

第12回移住者子弟研修生として応募した時の私の研修内容は、食品分析でした。当時、アルバイトをしていた私の母校であるアスンシオン国立大学薬学部の先生方の勧めもあったからです。この大学では薬草と食生活改善のプロジェクトが組まれており、小さな大学所属の研究所で、1つの事を専門にやる事はなかなか大変なので、食品分析の勉強以外に薬草を始め、研究所の組織等について勉強したいというのが当初の私の研修計画でした。

5. 研修概要(具体的研修内容および成果)

私の研修内容は食品分析です。食品分析は食品の価値を判断するために、化学的、物理的、あるいは生物的方法によって食品の性状を示す数値を求めるものです。食品には、ビタミン、鉄分、カルシウム等いろいろな栄養素が含まれ、その質と量によって栄養価が決定されるので、その分析はとても大切なものと思っています。

前期の4月から7月までは、東京農業大学農学部栄養学科食品原科学研究室で基礎分析についての研修および食品化学実験の講義を受けました。

8月からは、同大学農業拓殖学科熱帯農業第1, 第2研究室で、パラグアイの主食となっているマンディオカ(MANDIOCA)の成分についても調べました。実験試料として用いたマンディオカは、学生が海外実習の際に苗を持ち帰り、温室内で大事に生育させたものでした。勿論、パラグアイのように露地栽培で肥料を与えずに育てたものとは成分的にも違いはあります。

10月からは、ガスクロマトグラフィーについての研修を受けました。

この、ガスクロマトグラフィーは、機器分析法の1つで、1本の管にアルミナやシリカゲルのような吸着剤をつめ、管に試料を注入した後、ガスを流すと吸着力の強弱によって試料に含まれる成分の速度が異なる事を利用する方法です。したがって管中に分離された各成分を測定することによって、その成分が何であるか(定性分析)またその成分の量(定量分析)を調べることができるのです。この方法は、通常の分析法で測定できない微量な成分、または、混合試料で似かよった成分を測定することができます。この、ガスクロマトグラフィーおよびアミノ酸自動分析機で、「ぶどうの成育別アミノ酸および有機酸含有量の変化について。」調べました。

後期の4月からは、食品原料学研究室に戻り、加工食品の成分と「長野産、北海道産のグリーン・アスパラガスの貯蔵別成分の変化について」論文をまとめました。

大学内での研修以外には、日本でもっとも有名な食品関係の工場那須カゴメ工場、千葉日本製粉工場日進ハムを始め、東京大学動物学放射線研究室、アイソトープ総合研究所、東京都立衛生研究所、薬用食物園、国立衛生研究所を見学する事が出来ました。

本来1人だったら見学の出来ない所を、農大の先生方を始め、たくさんの方々の御厚意で研修見学が出来たのだと思います。特に、日本でも数少ない、

又は世界一という分析機の設置してある筑波学園研究都市の食品総合研究所、公害研究所、薬用植物園の見学が出来、改めて日本の優れた技術にびっくりしました。このような体験を、パラゲイに帰って将来少しでも役に立てれば…と思う気持ちでいっぱいです。



6. 当初の研修計画と実際の研修内容と比較して

当初の研修計画としては、食品分析、特に機器分析器の操作をマスターすることでした。後期研修は同大学でもっとも化学面の優れた農芸化学科栄養化学研究室での研修を希望していましたが、同研究室では、修士課程博士課程を取っている学生が多かったため食品原料学研究室に戻り、今後実験を進めるにつれて表われると思われる問題点などについての解明法の勉強をしました。

機器分析の勉強が思う通りに出来なかったのは残念ですが、たくさんの方々の農大の先生方、全方面識のない東京都立大学の先生を始め、たくさんの方々の御厚意により筑波学園都市の数々の研究所を見学させて頂くことができたので、心残りはありません。

7. 合同研修会について

1年半の研修期間で、何度かに分れて行なわれた合同研修では、慣れない日本での生活および研修についての問題点などについて国際協力事業団研修生担当者及び先輩達の体験にもとづいた適切なアドバイスを得る事が出来とても参考になりました。又、合同研修旅行中、スペイン語又はポルトガル語で仲間同志が自由に話せたことは、研修の励みになりました。特に研修旅行では、日本の文化等そのまま伝えられている、中尊寺、巖美溪、箱根、靖国神社等日本の名所を見学する事が出来感謝しています。

8. 本邦での生活状況

1年半の日本での研修生活ではいろいろ良かった事、困った事等たくさんありましたが、あっという間に終わってしまったような気がします。

その中でも、私をはじめ研修生にとって最も良かった事、安心出来た事は、国際協力事業団で私

達の為に健康保険証を作ってくれたことです。パラグアイ出発前の最大の心配事は何と言っても、1年半という長期間の研修生活での病気やけがの事でした。病気やけがをした時はどうしたら良いか、経済的に大丈夫だろうかということでした。幸い私は、大きな病気やけがもなく、無事に研修生活を終ることができましたが、やはり、そのためには保険証を持って行けば、何時でも安心して病院に行けるという安心感があったことは確かです。

又、私の場合は私を含めて4人の研修生(ブラジル、ペルー、ボリヴィア)が同じ下宿で生活出来た事は大変良かったと思います。いろいろな心配事を、同じ立場の人と身近で話し合える機会があったことは、特に研修初期に慣れない日本語を一日中使い、精神的に疲れた時には、スペイン語での会話が良いストレスの解消法であったと思います。

困った事と言えば、やはり言葉と習慣の違いです。例えば、言葉ではパラグアイでも日本語を話す機会は多かったのですが、専門書を読んだりした時は、漢字が読めなかったりしたことです。又、習慣の違いでは、例えば挨拶にしても日本では先ず頭を下げるのですが、パラグアイでは先ず握手ということで、最初は頭を下げる事を忘れて、あわてて頭を下げる事もあり、自分でも思わず苦笑することがありました。



9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

パラグアイ、アルゼンチン、ブラジル etc の南米各地では日系人移住が始まり既に25～70年になっています。つまり今では二世、三世の世代になっている状態です。今年からは研修生の受け入れ人数も例年に比べるとずいぶん増えたようですが、今後もひとりでも多くの分野、また一人でも多くの研修生を子弟研修制度により、受け入れて頂きたいと思います。

10. 所感(帰国後の抱負を含む)

一年半の研修期間中、ずいぶんいろいろなことがありましたが、特に私達研修生を安心させてくれたことは研修期間中、国際協力事業団より私達のために健康保険を付保して頂いたことです。パラグアイを出発する前一番心配したことは“病気やけがをした時はどうしよう? 毎月支給される生活費でその時はだいじょうぶだろうか?”と言うことでした。私達18名の研修生はさいわいにも誰一人大きな病気にかかりませんでした。保険証さえもって行けば、何時でも、どこかの病院でも診察が受けられるという安心感があったので研修にはげむことができました。

帰国後の計画、また希望としては、アスンシオン国立大学薬学部にもどり、パラグアイで得た薬学の知識と日本で得た食品分析の知識を組み合わせることで役立てる予定です。

田中好栄(パラグエイ アルト・パナ)



1. 研修機関 (1) 前期 神奈川県横須賀市緑が丘 28
聖ヨゼフ看護専修学校
(2) 後期 同上
2. 研修期間 昭和 57 年 4 月～昭和 59 年 3 月

3. 研修職種 看護婦

4. 当初の研修計画(テーマ、研修内容等)

研修計画…(准看護婦資格取得)

私の研修目的, 准看護婦資格取得の為に必要な学科の修業。

研修期間は原則的に1年8ヶ月であるが, 目的達成の為に2年間の在学修業が必要な為, 研修当初半年間の延期申請を行ない許可を得た。

研修内容

第1学年1学期(4月～7月)	一般教科及び専門教科の勉強
“ 2学期(8月～12月)	“ “ 及び基礎実習
“ 3学期(1月～3月)	“ “ “
第2学年1学期(4月～7月)	“ “ 及び疾病の理解と看護
“ 2学期(8月～12月)	“ “ “
“ 3学期(1月～3月)	“ “ “

卒業試験 准看護婦資格取得試験 及び集中実習

5. 研修概要(具体的研修内容及び成果)

(1) 一般教科:(数学, 英語, 国語, 音楽, 生化学, 家事家政, 政治経済)

高等学校教科であり, 入学当初は程度の高さに戸惑った。特に数学については, 追試の繰り返し

返してであった。他の教科について

は何とか合格点を取る事が出来た。

(2) 専門教科:看護概論, 看護方法他

専門教科は教科数が多く計26科目を2年間を通して勉強していくが, 看護概論, 個人衛生, 看護方法等は特に興味を持って勉強したが, 微生物放射線科は理解に苦しんだ。

(3) 実習:(基礎実習, 疾病の理解と看護)



敬帽式

小児科、内科、外科、整形外科等で当初は週2日、現在は週4日実際の患者を受け持ち、勉強の成果を発揮出来たと思われる。

又患者の精神的な問題も考えながら看護する事の大切さを学んだ。

6. 当初の研修計画と実際の研修内容とを比較して

- 全般的に当初の計画通りに進んだと思われる。

疾病の種類や看護範囲の広さに驚き、同時にパ国での基礎学問の低さを感じた。

- 文化活動(学校祭、体育祭、サークル活動)等が活発に行なわれ、教科以外で貴重な体験をした。

7. 合同研修会について

1年8ヶ月の研修期間中、6ヶ月毎に行なわれる合同研修会については非常に有効な一時だったと思う。

各々が、それぞれの機関で、慣れない生活状況の中から専門的な知識、技術を身につけて行く為には、つらいこと等数多くあったのではないかと思う。日本に慣れるまでの失敗談や研修についての意見の交換、生活についての励まし合いが出来る合同研修会の場は「ホッ」と息をつく場でもある。又、同じ様な悩みをもつ同期生と母国語で語り合ってストレスの解消となったり、次の研修に励む力を与えてくれるものである。

春、夏、冬に行なわれた見学旅行も、日本の景色や歴史に触れる事が出来、又、日本の文化を学ぶ良い機会だったと思う。

8. 本邦での生活状況

寮生活だった為経済的なゆとりは多分にあったが精神的なゆとりや自由時間でのゆとりは他の研修生に比し、ほとんど無かった様に思う。毎週日曜から土曜にかけて、起床6時に寮内の掃除から始まり、8時~4時迄実習又は授業、4時半~7時25分食事及び入浴時間、7時半~7時45分夕の祈り、7時45分~9時自習時間、10時消灯の繰り返しであった。実習日は、その日の実習ノートをまとめる為に就寝は11時以降になり、看護の道は厳しいのだな!と感じさせられた。

特別研修生としての扱いはない為か
厳しい面は多々あったが、勉強しやすく、やらなければならないという気持が強く、知識も身に付いたのではないかと思う。

5月に神奈川県准看護婦学校18校が参加し、お互いの交流を計る為の体育祭が行なわれる。種目の1つである仮装行列で、赤いバラのフラメンコを



学校祭 "白鳥"

踊り最優秀賞を飾る等良い思い出を作る事が出来た。

10月学校祭、12月にはクリスマスキャンドルサービスが行なわれる。

どの行事も看護をしていく上で必要な協力性、チームワークを養う為のものである。

9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

- 研修内容、又各々によって異ってくると思うが、日本での看護教育を受け、これまでの私の経験から、将来准看護婦の勉強にくる研修生に、一般教科特に数学、国語の勉強の必要性を感じた。
- 要望事項：研修期間の2年制

2年制にする事により、より以上充実した研修成果が得られる事と思われる。特に学校生活に入る者にとっては区切りが良いし、看護学校は2年制なので最終まで研修出来る事になる。

10. 所感（帰国後の抱負を含め）

パ国で生まれ育った私にとって、祖国日本での研修は夢の様であり、多少うわついた感じがないでもなかったが、実際に看護学校生活の中で体験した事は、今後の自分の進む道に大きなプラスになる事だろうと思う。

日本の学問及び医療の高度さを痛感したと同時に、何とか今日まで研修生活が出来た事に満足している。

帰国後は、研修で学んだ事を生かし、地域住民の方々のお役に立ちたいと思う。又出来れば再度来日し、より以上の修業をしたいと思う。



寺島喜光（アルゼンティン セラージャ）

1. 研修機関 (1) 前期 香川大学農学部
(2) 後期 香川大学農学部 大山農園
2. 研修期間 昭和57年4月～昭和58年9月
3. 研修職種 農業（花卉）

4. 当初の研修計画（テーマ、研修内容等）

「洋ランの栽培技術について」

- (1) 洋ラン、特にシンビジウムの栽培技術を学び、繁殖技術についても習得する。
- (2) 花卉生産上、役に立と思われる講義をきき、それに関連する実験、実習を受ける。

5. 研修概要（具体的研修内容及び成果）

- (1) 講義として「花卉栽培学」、「園芸作物繁殖論」、「園芸施設学」、「花成および開花調節論」をきき、さらに「花卉園芸学実験」、「農場特別実習」も受けたので、理論的、実地的な知識を身につけることが出来た。

- (2) ランをはじめ多くの作物が組織培養により繁殖されるが、組織培養は無菌状態で行う必要がある。最初に、そのための装置、すなわちクリーンベンチを自分で作った。次に、シンビジウム、カトレヤ、オンシジウムの葉頂培養を行ない、プロトコーム状球体(PLB)の形成、PLBの増殖、植物体の形成、鉢への植出しまでの、一連の繁殖過程について学んだ。さらに、培地に加える植物ホルモンの影響について実験を行ない、ラン種子の無菌発芽の方法についても学んだ。
- (3) 鉢へ植出した後のランの栽培管理については、大学の農場で学び、一般的な栽培技術については、ラン栽培農家で学んだ。アルゼンチンの地下水は、塩類を多く含み、PHも高く、ランには不適當である。まず、そのような水がシンビジウムの生長におよぼす影響について調べ、水質を良くする方法について実験した。
- (4) 香川県以外のラン栽培農家を見学し、各農家がどのように工夫して、品質の高いランを生産しているかについて学んだ。
- (5) 大阪の花市場を見学し、花卉の中でランの占める位置が大きい事を感じた。またラン関係の種苗会社を5つ見学し、日本における苗の生産の実情について学ぶ事が出来た。
6. 当初の研修計画と実際の研修内容とを比較して

日本に来た当初は、ランについての知識がまったくなかったが、研修中に、知識や技術を身につけ、大分わかるようになってきた。まだわからない事が多く残っているが、1年半の期間で全てをわかる事は不可能である。基礎的な事は身につけたので、これからは専門家や本から学び、自分の力で問題を解決したい。

7. 合同研修会について

6ヶ月毎に顔を合わせ、友好を深めることが出来るので、合同研修会は有意義である。自分が生活しているところ以外の様子を見る事は、日本についての見聞を広める上で役立つので、研修旅行は大変良かった。

8. 本邦での生活状況

日本に来るまでは、自分の意志が日本人に理解してもらえるかどうか心配であったが、大学の研究室の人々が、言葉の障害をこえて私を理解してくれたので、大学での生活は大変満足でした。予想された考え方の違いによる意見の衝突もなく大学生活ができて幸いであった。両親から教えられた、日本の文化についての認識と現実とが大きく違う事に失望したが、友達から、現



香川大学農学部研究室において洋ランのシンビジウムの移植を行う。

在の日本の文化について学ぶ事が出来た事は、日本を理解する上で役に立った。

9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

日本での住居について、研修先に宿泊施設がなかったので、アパート生活を送ったが、このアパートに入るのに多額の費用(敷金、礼金等)が必要で困った。今後は来日前に連絡を充分とっていただきたい。

大学等で研修する場合、研究を補助する資金援助、日本の伝統的文化(例えば、いけ花や茶道)を習う場合援助がほしい。

必要な場合には、研修期間を延長出来る様にしてほしい。

10. 所感(帰国後の抱負を含め)

両親はアルゼンティンでバラを栽培しているが、塩類障害などの問題のために、バラを栽培しつづけようとすれば、温室を移動しなければならない。これは大変な事であり、私は温室を移動せずに経営出来る作物をさがしていたが、そのうちにランに思い当たり、本研修制度によって、日本で研修することができた。

日本では、ランをはじめいろいろな花について学ぶ事が出来、多くの知識を身につけることができた。私としては、この知識をいかし、新しい経営の道を開いて行きたい。シンビジウムの栽培を成功させ、アルゼンティンの人々の生活の中に広めるのが夢であり、この夢が実現するよう努力したい。



洋ランの灌水作業



高吉清文 (ドミニカ サント・ドミンゴ)

1. 研修機関 (1) 前期 長崎高等職業訓練校
(2) 後期 長崎県交通局中央整備工場
2. 研修期間 昭和57年4月～昭和58年9月
3. 研修職種 自動車整備

4. 当初の研修計画(テーマ、研修内容等)

- 自動車整備の技能修得

ディーゼルエンジンの整備

(インジェクション ポンプ及び電装関係)

5. 研修概要(具体的研修内容及び成果)

前期職業訓練校での1年間は、言葉や漢字の読み書き等又、食生活等習慣の違いで、異国での生活はとまどう事ばかりでした。

研修の職種は自動車整備で、ガソリン、ディーゼルエンジン、電装関係などの構造を勉強(3級ガソリン、3級ディーゼル自動車の技能検定国家試験に合格しました。)しかし実際に分解組立などの整備をするとなるとまったく自信がなく、どうしても実技不足が強く感じられしかたありませんでした。

後期研修は、4月から長崎県営バス中央整備工場での実習は毎日が実技の勉強で、始めの2ヶ月間は電装関係で、主にスタータ、オルタネータ、レギュレータなどのオーバーホールなどの整備で故障箇所の発見が出来る程度の実習が出来たと思います。

6月からの2ヶ月間は、ディーゼルエンジンのオーバーホール、現車のままでヘッド、オイルパレを取付整備するセミオーバーホールやエンジンについているウォータポンプ、クラッチ、トランスミッションのオーバーホールの実習は国に帰ってからすぐに役立つと思います。

8月からは、インジェクション ポンプのオーバーホールやテスト台に取付けて噴射量の調整、噴射時期の点検またノズルのテストなど、エンジンに対する一般的な研修で、実際に整備をする上で必要なものを修得出来たと思います。

6. 当初の研修計画と実際研修内容を比較して

日本に行く事が決った時、ドミニカでは日本車のディーゼルエンジンの自動車が多くなって来たので、ディーゼル自動車の修理が出来る様になれば良いと思っていましたが、始めに職業訓練校に入校でき、ディーゼルエンジンの他に、ガソリンエンジンの勉強も出来ました。後半は長崎県営バスで、自分が本当にやりたかったディーゼルエンジンの実技の勉強が出来ました。

7. 合同研修会について

合同研修会や研修旅行では、皆んなと会える事が出来てとても嬉しく思いました。意見交歓などで色々な国の人達と知り合い、生涯忘れられない楽しい思い出を作って下さった国際協力事業団の皆様方に、心から感謝いたします。

8. 本邦での生活状況

職業訓練校の寮生活は、私にとっては初めての寮生活で、とっても厳しく感じました。又言葉や食事、習慣の違いでとても不安に思う事も有りました。特に食事においては、ドミニカで毎日々肉を食べていたが、日本での寮生活では肉料理がとても少なく、又味付け等まったく違って体調をくずしてしまう事も有りました。

又4月より実技研修期間中はたくさんの友人ができ、名所等色々な所へ連れて行ってもらう事

もありました。研修期間が早く過ぎてしまいました。厳しさ苦しきばかりではなく、日本の四季の移り変わり、春の桜、秋の紅葉、冬の降雪を体験できたのは大変良い思い出になりました。

9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項
特にありません。

10. 所感(帰国後の抱負を含め)

将来自動車整備をやろうと思っていた時、国際協力事業団、ドミニカ支部より海外研修生として日本へ行けるという連絡があった時は、とっても嬉しかった。そして日本に行ってディーゼルエンジンの技術を一生懸命勉強する事を心に誓いました。

しかし、日本語がよくわからず、最初はなれるまでは大変困るだろうかという大きな不安もありました。でも父母の祖国である日本のおじさんやおばさんに会える喜びもあり、そう言った期待と不安が入り交った複雑な心境でした。

4月2日日本に着き、国際協力事業団の人に横浜移住者センターへ連れて行ってもらった途中で、桜が美しく咲いている所を見る事が出来、又研修に入る前に国際協力事業団の人に東京見物に連れて行ってもらった時初めて人ゴミの中で歩いたが、人々はあわただしく歩いていて、ドミニカとの違いを肌で強く感じた様な気がしました。

研修に入ってから、長崎高等職業訓練校に入校し、1年間の寮生活も体験する事が出来ました。言葉、習慣の違いでとまどってばかりいました。又学習面ではやはり言葉がよくわからず、初めのうちは良く理解する事が出来なかったが、半年もすると皆人と一緒に学習について行く事が出来るようになりました。又訓練校を卒業してからは、バスの整備工場で実技を勉強する事が出来



ました。学校と違って、実際に故障を修理したり、初めて見る様な工具を使ったり操作したりして、1日がとても短かく感じる毎日でした。又その工場の人達はわからない事も良くわかるように、基本から詳しく説明してくれたり、全ての事にとっても親切で感謝しています。

研修期間もあとわずかになりましたが今まで1年の間に自分が勉強し身につけた事をもう一度復習し、すべてを自分の

ものにして、ドミニカに持ち帰り、自分の働く工場の人達に少しでも日本の技術を勉強し理解してもらえる様に頑張りたいと思っています。最後になりましたが、国際協力事業団の皆様方本当に有難うございました。



河村 ピオレッタ(ペルー リマ)

1. 研修機関 (1) 前期 a) 社会福祉法人賀川学園
b) 東京学芸大学：特殊教育特別専攻科
教育学部附属特殊教育研究施設要覧
精神薄弱児教育研究部門
(2) 後期 a) 東京都立梅ヶ丘病院
b) 東京学芸大学教育学部附属特殊教育研究施設要覧精神薄弱児教育研究部門
c) 安田生命社会事業団
2. 研修期間 (1) 賀川学園：1982年5月4日～1983年3月21日(週2日)
(2) 東京学芸大学
a) 特殊教育特別専攻科：
前期：1982年5月6日～9月30日
(7月17日～9月10日 夏休み)
後期：1982年10月～1983年3月12日
b) 特殊教育研究施設：
前期：1982年5月6日～1983年3月16日
後期：1983年4月13日～9月22日
(3) 東京都立梅ヶ丘病院
1983年4月11日～9月21日
3. 研修職種 心身障害児心理学、特殊教育、福祉と医療の面で
4. 当初の研修計画(テーマ、研修内容等)
(1) 福祉の面では(賀川学園)：
学齢前の自閉症の具体的アプローチ
通園施設の学習の指導方法と材料、個別指導のやり方
(2) 特殊教育の面では
言語や認知の面における学習、異常行動の解消を個別指導で行動もディフィクション技法を

採用して。

対人関係、身辺自立、社会的同調行動、遊びの訓練の集団指導方法の開発。

(3) 医療の面では

入院患児の日常生活、病棟での集団生活、行動観察をととして、精神障害児の治療プログラムを体験する。

外来、心理検査、カウンセリングなどの心理臨床家として基本的技法を習得する。

5. 研修概要(具体的研修内容及び成果)

<前期>

(1) 賀川学園での実習

月、火曜日、9時から5時、この施設で実習をさせていただきました。5月の初めは3つのクラスを見学し、小梅ちゃん組で子供達と勉強しました。子供が5名で、F.Yだけが言葉がある子で、M.Mがじしよ行為が強く、顔をひどくたたいたりしていました。9時45分から集団教室のカリキュラムについて手先の訓練、母親と協力して生活習慣を身につける。又、この子供達は偏食が多いので、食事指導。1時～2時30分は個別指導が行なわれていますので、観察をしておりました。3時からMとC.H先生と記録のまとめをしたり、クラスの話し合いをしました。

5月19～21日に春合宿に山中湖へ行きました。私は初めて参加したので何もわからず、皆のペースについて行けなかった。まだスタッフにも子供達にも慣れていなかったせいで食事の方を手伝ったりしていました。朝早くから、子供達に山登りをさせたり、帰ってお風呂に入れたり、寝るまでめんどろを見たり、そしてその後話し合いをする、元気なスタッ



東京学芸大学特殊教育研究施設において
情緒障害児教育研究部門の集団指導

フの姿には感動しました。6月6日～8日賀川学園での合宿にも参加させていただきました。夏休みが終って、子供達はずい分成長していました。

2学期にはAちゃんが小梅ちゃんに入りました。5名の中で一番としが下で、まったくわからない子でした。教室では自由時間がなくて、次々といろいろな事をやらせられている感じがしますが、自由時間の様子を見ていると、ふらふらしたり、目の前で手をふったり、クルクルまわったり、はっきりした理由がないのに笑ったり、しくしく泣いたりしているのです。こちらでは、3月14日で実習が終わりました。3月20日の卒園式に参加させていただきました。小梅ちゃんからは3名が、4月から学校へ行くことになりました。この8ヶ月の実習で自分なりにどんな事をや

って良いのかわからなかった事が多かったと思います。こう言う子供達の心を理解できなかった。そのため自分だけのための実習にしかならず残念であったと思います。

(2) 東京学芸大学での研修

特殊教育特別専攻科：学芸大学には特殊教育を専攻しておられる大学卒業生のためにこの学部がありますので、そちらで次の講義を受けさせていただきました。

水曜日 8：30～10：00 幼児の生理

〃 14：40～16：20 児童精神医学

昭和57年度前期から後期にかけて

土曜日 12：50～14：30 行動療法論

14：50～17：00 セラピー及び実習：集団指導、個別指導

17：50～20：00 ケース会議

こちらでは6月からY.Mの担当をしておりました16才の女の子で、精神年齢が3才9ヶ月(TA-NABA-BINET)、言語がない子で、自発的に動こうとしない。最初はなかなか集団に入ろうとしなかった。すぐ木によりかかって、腕で顔をかくしていましたが、段々と参加するようになりました。個別ではT先生と発声の訓練や文字指導。

前期には長瀬先生の御紹介で、次の施設を見学させていただきました。

1982年4月28日と1983年3月22日、小平市の福祉会館、あすの子、小平市保健所。

4月30日、けやき保育園とピノキオ園。

7月1日と2日、東京学芸大学附属養護学校、しおん保育園、学芸大学附属幼稚園。

7月26日藤沢市障害者福祉センター。

11月11日から12月6日、木曜日の午前は、国立武蔵療養所(重心療棟)、こちらでは病棟担当をなさっていた河野先生に大変お世話になりました。心から感謝しております。

11月3日と6日にはマイケルラター博士の特別講演会に参加させていただきました。テーマは、自閉症の形成と認知障害、児童における行動障害の神経精神医学的基礎。

それから、東京学芸大学教育学部特殊教育研究施設、言語障害児教育部門で研究をなさっておられる若葉陽子先生の御紹介で、次の所を見学させていただきました。

2月14日、横須賀市昭和小学校、言葉の教室、2月28日、所沢リハビリテーションセンター、3月3日、川口市立小学校言葉の教室。

その他に、2月10日に全国療育相談センター、14日は全国心身障害児センターを見学しました。

3月28日と29日には、第2回治療教育実技公開研修会、ケリー博士の講演会に参加させていただきました。

特殊教育研究施設

前期は、水曜日は6ケースの個別指導、集団指導の検討が行なわれておりますので、参加させていただいておりましたが、初めのうちは何が話されているのかまったくわからなかった。その上、指導案をいただいても読む事も出来なかった。その時、友達等が気をつかって指導案にふりがなをうって、コピーを取ったりしてくれました。又読んでもらって、英語に直してもらった事もあります。

この研究施設では「自閉症児の教育指導法の研究」を行なっております。そこに自閉症児23名が毎週1回、木曜と金曜に分かれて研究施設に通っています。指導の形態は1対1の個別指導と10人程度の小集団指導。スタッフは研究委託生、研究生、院生など合わせて15名が、野村先生のご指導を受けながら、共同研究をなさっています。そこで10月～3月、3時～3時30分、F.H君のケースをO先生と担当させていただきました。養護学校の高1年、精神年齢が3才～4才の間で、言語表現をしても、おおむねえして、いつも「わかった、わかった」と言ったりしました。

1983年5月20日～9月、K先生と副指導員としてI.R君の個別指導に参加させていただきました。小学4年で、精神年齢が2才2ヶ月、課題の意味や状態が悪いと癇癇を起して、つねったり、自分の手をかんだりします。フィードバックの仕方がむずかしいです。

集団には小学生から高校生が参加しています。その中で言葉がある子が7名、うながせば言葉が出る子は5名、とまったく言葉がない子が12名、女の子が2名。前期は木曜日はU君を担当していました。軽い薄弱の男の子です。金曜日はTちゃん、自閉症児の15才の女の子で、気に入らない事がおこったら、あごを強くこすったりしていました。

10月から、木曜日はM君を担当していました。8才の男の子で、多動ですがいつも笑っているの楽しい子です。金曜日は、K君を担当していました。養護学校1年、重度の薄弱の男の子で、癇癇を起したら高い奇声を発しながら、自分の足を手が真っ赤になるまで、たたいたりします。

私は、この集団に初めて参加した時、不安が多く、なかなかやっていけないと思いました。大人が子供達にふりまわされている感じで、体が大きい子供達で、パニックを起したら大人でもおさえられない子が多く、その上癇癇を起して、つねったり、かみついたりする子がいるので、自信がなかったが、日がたつにしたがって子供と接しているうちに、なれて来ました。又、子供もなついてくるので、知らない内に仲良くなりました。



8月7日～9日には昭和57年度、自

情緒障害児教育研究部門において個別指導を行なう。

閉症児サマーキャンプに参加させていただきました。児童が35名、指導者（ボランティア）が77名と信州野辺山へ行きました。私はいろいろと心配をしていましたが、考えたより楽しくすごしました。又、それから皆様と増々仲良くなりました。キャンプが終って9月まで夏休みに入りました。10月17日に運動会が行なわれました。その時、ご両親方と指導者が子供になった気持で楽しめられたと思います。12月23日にクリスマス会が行なわれました。その時も、お母さん方が参加しました。とても楽しかった。そして、3月16日におもちつきをして、57年度が終わりました。スタッフの皆様と17日～18日は、お別れ旅行をしました。これまで毎週いろいろなお話をした先生方と別れるのがさびしかった。4月13日から（58年度前期）、研究施設へ行き始めました。なんとなく昨年度とずいぶんいきが変っていました。私は木曜日と金曜日6時30分から池袋にある安田生命で講座を受けておりましたので、6月まで集団が終ると走って行っていました。その後は、8月3日～5日サマーキャンプが行なわれましたが、その時事業団の研修旅行に参加させていただきましたので、参加しなかった。9月7日まで夏休みで、その後、残りの3週間、いろいろと勉強させていただきました。

(3) 東京都立梅ヶ丘病院

心理の星先生のご指導で、次のように研修をさせていただきました。

4月から6月は、女子思春期病棟。こちらの閉鎖病棟には約18名の入院患者、50%が登校拒否。私は初めてこの病棟に入った時、不安が多く、皆様に紹介していただいた時、すぐに話しかけられてもなかなか言葉が出て来なかった。流行語も聞き取れなかった。病棟では毎朝の話し合いを聞かせていただいていたので、観察をしているうちに少しずついろいろな事を身につけて来ました。又、この病棟では医者、P.S.W. (PSYCHIATRIC SOCIAL WORKER)、と心理の先生方がチームワークで患者を見ているので、ケース会議にも参加させていただきました。この病棟から学校へ通っている子が、段々と増えていたので、大体5～6名しかいなかったのですが、皆が集まるととてもにぎやかになっていました。自由時間には、皆とテレビを見ながらいろいろな話をしました。そんな時いつもMちゃん（15才の分裂病者）が私になつて来た時、とてもうれしかった。病棟のプログラムには院外散歩と遠足がふくまれていますので、参加させていただきました。

この病棟にいた間、心理のM先生の指示でケース担当をさせていただきました。又心理テストを観察させていただきました。

Hさんは17才、診断はそううつ病で、手首を切ったり、飛び込み自殺をしかけたので入院しました。初めに会った時はかなり落ちついていて、表情に乏しい。いつも1人でさびしくまわりの出来事を外からながめている感じがしました。内向的で、なかなか自分を出さない、哲学的話が出来る相手がいなくて、看護婦に話しかけたりしていました。院外散歩に行くと生き生きとした顔つきが見られました。退院までにはずいぶん明るくなっていました。家でも何でも話せるように

なったそうです。私はこのケースに興味がありましたが、あまり深く話す事が出来なかったので受持ちの方々の話を参考にして、彼女の反応を観察したりしました。又心理テストを観察させていただきました。

Fさん14才、登校拒否、小学校の頃お母さんが再婚した後、学校を休んでぶらぶらしたり、デパートで万引きしていました。中学校3年の時家でトラブルをおこして、入院させると言われ、自分から入院する事になりました。いつもにこにこして話をしていました。又、幼児的部分があって、本当は甘えたいのに大人に対して反抗的の反応をしめしていました。

女子病棟に行った時、4回ぐらい男子病棟を見学させていただきました。患者が23名で、その中に登校拒否とか家庭内暴力が多かった。こちらは女子病棟よりまとまっています。しかし aggressive な反応を示す子がいたりして、落ち着いて話せなかった。

4月に同じ事業団からペルーの女医が来ましたので2、3回通訳を頼まれました。6月から9月は外来で研修をしていました。こちらでは心理テストを教えてくださいました。WISC-R(知能テスト)、は心理のF先生にふりがなをつけてもらったりしていただきました。そして7月12日にV先生と14才の非行少年にWISC-R(知能テスト)を取りました。私はすらすら読めないのととても心配していました。しかし、彼が協力してくれたので、別に問題がなかった。ただ同時に時間を取ったり記録をしなければいけないのに、それを忘れてしまいました。それからWISC-Rの心理的解釈をして、レポートを出しました。27日に観察させていただいたNERILL PALMER テスト、デイケアに来ている5才の男の子に取らせていただきましたが、その子がテストにのってくれなかったもので、途中でやめました。その他に、I.T.P.A.田中ビネテストを観察させていただきました。思春期外来のケース会議、医者の面接にも出席させていただきました。又デイケアと自閉症児の病棟を見学させていただきました。この病院での研修プログラムの中で、8月9日に札幌市立札幌病院附属静療院を見学させていただきました。そこには自閉症と神経症の病棟があります。こちらに来るケースの中で60%は身心発達遅滞と言語遅滞、40%は神経症、こちらも閉鎖病棟です。やはり行方不明になる事があるので、SHIDARA先生を始め、MIZUNO先生と心理のKAWAMORI先生に心から感謝を申し上げます。又JICA 北海道支部の方々に見学のためお世話になりました。

又、後期研修のプログラムの中で安田専門講座に参加させていただきました。そこでは18時から20時15分まで講義を受けさせていただきました。

- ① 発達臨学入門(12回)
- ② 言語発達の障害(6回)
- ③ 知能テスト。ITPA(6回)
- ④ 自閉症の発達臨床(6回)
- ⑤ 心理療法の基礎(6回)

夏期：9時30分～18時15分

① 登校拒否及び関連領域の問題

② ワークショップ、学習障害

7月28～30日に、長瀬先生のご紹介で、NHK厚生文化事業団、療育キャンプ（赤城山）に参加させていただきました。

1983年4月から9月、土曜日の午後は、武蔵小金井のオモチャライブラリでO君を担当させていただきました。発達遅れで手が麻痺しているため、物をつかんだりする事ができない。言葉はまったくありません。このオモチャライブラリに障害児の為のオモチャの借り出しをやっています。その他に個別指導と小集団指導が行なわれています。こちらにはいろいろなケースが来ております。そして、土曜日は12名来ております。

6. 当初の研修計画と実際の研修内容とを比較して

大学を卒業してすぐ日本に来る事になりました。ペルーでは研修先が決まっていますと言われたので、私はてっきり着いたらすぐ勉強出来るものばかりに思っていたのですが、実際はそうではなく、研修先が決まるまでいろいろと心配しました。しかし、この1年半の間、多くのケースを見る事ができまして、又その間いろいろな人と出会う事が出来たので、本当に勉強になったと思います。

この1年半研修のご指導をしていただいた長瀬先生を始め、賀川学園の皆様、東京学芸大学特殊教育特別専攻科の先生方、特殊教育研究施設の野村先生を始め、先生方と研究先の皆様、東京都立梅ヶ丘病院の先生方に心から感謝しております。そして国際協力事業団の方々、あらためて感謝しております。又日本にいる間お世話になった方々と友達の皆様と両親にもこの機会にお礼を申し上げます。

7. 合同研修会について

日本にきていろいろとうれしい事があったと思います。しかし、私にとっては一番楽しかった日々は、合同研修会でした。皆と一緒にいる間、本当にいやな事を忘れ、楽しくすごしました。

しかし、皆が研修先へ帰るとなんとなくもの足りなくなりました。

8. 本邦での生活状況

ペルーからは私一人でしたので、私はてっきり誰かと一緒に住む事が出来るものばかりに思っていたのですが、実際はそうではなく、5月に研修先が決まると、私一人国分寺で下宿する事になりました。研修先が決った次の日、下宿へと向ったのですが、着いたのは夜12時頃になってしまいました。隣の部屋には誰かいるらしく、話し声が聞こえたのですが、もう夜半過ぎである事から、その晩は何もない部屋で一人寝ました。翌朝、コーヒーが飲みたくなり、隣の部屋にガスを借りにいったら、びっくりした顔で、「ここで寝たのか」と言われました。それから、日本の大学生と共同生活が始まったのです。下宿のおおやさんと近所に住んでいる奥様が、いろいろな物を下さった

ので本当に助かりました。

研修先では日が立つにしたがってなれて来ました。又、夏休み前まで下宿の皆様と話たりしていました。休みになると下宿には誰もいなくなりましたが、ペルーから父が来ましたので、楽しく過しました。しかし、その後は下宿にいたのがいやになって来ました。夜遅くまで隣の部屋でさわいでいる声が聞えてきたり、なかなか勉強もできず、ゆっくり寝る事も出来なかった。12月の初めに誰も信じられない事が起り、下宿にいたのがこわくなりました。それで、28日に仲間のいる世田谷の経堂へと引っ越しました。その時、大学の友達に手伝ってもらいましたので助かりました。又親戚の方にお世話になりました。それから毎日電車に乗るようになりました。私にはこの1年半の生活は次のように感じられました。

疲れていても、食事を作らなければいけない。一人でいる時はテレビを見ながら食事をし、又はずかしくても銭湯へ行く事、その上お金がなくなりそうになったら、悩む事。そして1年半が過ぎ、今は他の国から来た研修生や日本人とも次第に友達になり、そういう仲間達と話をしているだけで随分心強く感じていました。

9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

去年私はペルーの国際協力事業団と中央日本人会に行った後、ペルーから1名しか行かれませんかと聞いた時、日本に前から来たくても来れない方々の事を考えて、本当に申し訳ないと思いました。しかし、今年は2名来るようになりましたので、うれしく思いました。

ペルーでは日本でできる研修内容についてのインフォメーションは少ないと思いました。それで、折角日本に来る事ができたとしても100%この機会を活用することができないと思います。日本で心理学を専攻する場合には日本では学問的にはアメリカとヨーロッパの影響が強いのので、日本で実際に行なわれている事はある外国の学者の理論の研究です。日本語に訳させた本が多いですから、日本語と英語を読む事ができれば良いと思います。ただアメリカと違って、心理学は自立した科目ではなくて、例えば一般教育の科目で受けるため、日本では心理学者の資格は取れません。心理学者が主に仕事をしている所は児童相談所、教育相談所、少年院ですが、段々厚生省が扱うようになってから病院でも心理学者の仕事が増、心理学者の数は少なくありません。専門語に関して和西、西和の辞書はありませんので漢字を読めるようにならないといけません。それとも英語の辞典を買えば助かると思います。

10. 所感(帰国後の抱負を含め)

将来ペルーに帰ってどんな仕事場につくのか私にはまだはっきりしていませんので、計画は立てていません。ペルーでは一般心理をやってきましたが、実際に仕事をした事がないので、臨床や特殊教育ではどんな事が行なわれているのかわらなかつた上、来る前まで重い障害児に直接関わった事がなかつたので、どんな関わり方をすれば良いのかわらなかつた。又、登校拒否とか、家庭内暴力とか私が知っている範囲ではペルーでは問題になっていないと思います。日本みたいに国が経済

的に安定していて、国民がある程度豊かな毎日を送っており、同じ人種だけが住んでいる国と違って、ペルーは貧富の差が激しく社会にいろいろな人種がいて、風俗や習慣又生活レベルがそれぞれ違いますので起る問題も違って来ると思います。しかし、日本と同じ様に私の国でも非行に走る少年は少なくありません。それで、ペルーでも心理学者は国民の精神異常に関わる義務があると思いますので、私は将来どんなケースに出会うのかわかりませんが、日本で身につけて来た事を生かして仕事をしたいと思います。

第12回子弟研修生名簿

子弟研修生一覽表

第12回子弟研修生名簿

MASAAKI ATSUMI:

熱海 正明

Caixa Postal 92.698

Teresopolis Rio de Janeiro

CEP. 25950

BRASIL

CERGIO HIROYUKI EIKAWA:

額川 弘幸

q/c Camta

Tomé-Açu Pará

CEP. 68.685

BRASIL

HIROSHI OKA:

岡 浩

Rua; Roma c/2 Q/8

Conj. Campos Eliseos Alvorada 2

Manaus-Amazonas

BRASIL

mitsue HATORI:

羽鳥 光枝

Av. Inacio Monteiro,370 Cordeiro

Recife-Pe.

CEP. 50000

BRASIL

LUIS YUSO ASO:

麻生 裕三

Itati-Osorio-R.S.

CEP. 95.520

BRASIL

JORGE RYOICHI ISODA:

磯田 良一

CAC 298-Caixa Postal 33

Jacarei

CEP. 12.300 Sao Paulo

BRASIL

MARIO YAMADA:

山田 マリオ

Registro Cx.Post. 31

CEP. 11.900

Estado de Sao Paulo

BRASIL

PAULO KENJI ARAKI : Caixa Postal 25
荒 木 賢 治 08940 Biritiba Mirim-Sao Paulo
BRASIL

ROBERTO YUICHIRO NAKAMURA :
中 村 有 一 郎 Caixa Postal No. 155
Jacarei Sao Paulo
CEP. 01230
BRASIL

TSUTOMU FUKUHARA : Casilla de Correo No. 464
福 原 勉 Colonia San Juan
Santa Cruz
BOLIVIA

CECILTA CHIGUSA SHIMADA : Casilla de Correo No. 464
嶋 田 千 草 Colonia San Juan
Santa Cruz
BOLIVIA

YOSHIKAZU SHIMABUKURO : Casilla de Correo No. 321
島 袋 義 和 Colonia Nueva Esperanza
Santa Cruz
BOLIVIA

EMILIO YOSHIMURA : Casilla de Correo No. 6
善 村 エミリオ Encarnacion
PARAGUAY

MISAKO IWAMI : Casilla de Correo No. 769
岩 見 美 砂 子 Toyotoshi S.A.
Asuncion
PARAGUAY

YOSHIE TANAKA:

田 中 好 栄

Casilla de Correo No. 38

Colonia Alto Parana

Encarnacion

PARAGUAY

ANIBAL YOSHIMITSU TERASHIMA:

寺 島 喜 光

(1627) Zelaya F.R.B.M.

Pdo. Pilar (Colonia Japonesa)

Pcia. Buenos Aires

ARGENTINA

KIYOFUMI TAKAYOSHI:

高 吉 清 文

Colonia Hungara No. 47 (La Sabina)

Constanza

REPUBLICA DOMINICANA

VIOLETA KAWAMURA:

河 村 ビオレッタ

Psje. Los Libis 174

Urb. Tupac Amaru

Lima 13 Peru

PERU

第12回移住者子弟技術研

支 部	地 区	氏 名	性別	年齢	国 籍	本籍地	学 歴	研修職種
リ	セバスタアナ	熱海正明	男	20	ブラジル	北海道	高卒	畜産
ベレーン	トメアスー	額川弘幸	男	23	ブラジル	熊本	高卒	畜産加工
	ベラピスタ	岡 浩	男	20	ブラジル	香川	高卒	弱電修理
レシフェ	レシフェ	羽鳥光枝	女	35	ブラジル	山口	大卒	寄生虫検査
ポルト・アレグレ	イ タ チ	麻生ルイス裕三	男	20	ブラジル	福岡	高卒	花 卉
サン・パウロ	ジャカレイ	磯田良一	男	19	ブラジル	熊本	高卒	花 卉
	レジストロ	山田マリオ	男	19	ブラジル	北海道	高卒	野菜・米作
	ピリチーパミン	荒木賢治	男	24	ブラジル	佐賀	高卒	野菜・畜産
	桜高森	中村有一郎	男	17	ブラジル	群馬	高卒	花 卉
サンタ・クルス	サンファン	福原 勉	男	20	日 本	熊本	高卒	建設機械
	"	嶋田千草	女	19	日 本	熊本	高卒	生活改善
	オキナワ	島袋義和	男	21	日 本	沖縄	高卒	畜 産
アスンシオン	チャベス	善村エミリオ	男	23	パラグアイ	山口	高卒	農業機械
	アスンシオン	岩見美砂子	女	28	日 本	福岡	大卒	生活改善
	アルト・パラナ	田中好栄	女	20	日 本	高知	中卒	保健衛生
ブエノス・アイレス	セラージャ	寺島喜光	男	22	パラグアイ	福島	高卒	花 卉
サント・ドミンゴ	サント・ドミンゴ	高吉清文	男	26	日 本	鹿児島	高中退	ディーゼルエンジン
リ	マ	河村ピオレッタ	女	23	ペルー	ペルー	大卒	身体障害児心理学

修生研修機関(後期)一覧表

期間:昭和58年4月~9月

研 修 機 関	郵便番号	所 在 地	代表者名	電 話
襟裳肉牛牧場	058-02	北海道幌泉郡襟裳町字歌別	鈴木 昇	01466-2-2334
份朝日畜産	861	熊本県菊池市大字深川 356-1	魚住 汎英	0968-24-1181
松下電器産業株式会社 海外研修所	573	大阪府枚方市菊丘南町 2-10	秋田 忠志	0720-44-1881
慶応義塾大学医学部 寄生虫学教室	160	東京都新宿区信濃町35	倉田 正一	03-353-1211
福岡県農業総合試験場	818	福岡県筑紫野市 大字吉木587	市原 淳吉	092-922-4111
"	"	"	"	"
国際農友会	100	東京都千代田区有楽町1-13 -2 農林中央金庫ビル	斉藤 誠	03-212-0461
"	"	"	"	"
横山バラ園	254	神奈川県平塚市横内3053	横山 勝	0463-55-0134
九州建設機械販売株式会社	818	福岡県筑紫野市針楯40	矢野 善助	092-924-1212 (内)245
東京農業大学農学部栄養学科	156	東京都世田谷区桜丘1-1-1	鈴木 隆雄	03-420-2131
熊本県農業大学校 附属畜産高等研修所	869-23	熊本県阿蘇郡阿蘇町 西湯浦1454	山部 光則	09673-2-1231
山口県農業協同組合中央会	754	山口県吉敷郡小郡町 大字下郷2139	植崎 義親	08397-3-2211
東京農業大学農学部栄養学科	156	東京都世田谷区桜丘1-1-1	鈴木 隆雄	03-420-2131
聖ヨゼフ看護専修学校	238	横須賀市緑ヶ丘28	堤 弘久	0468-22-2134
香川大学農学部	761-07	香川県木田郡三木町 大字池戸2393	中潤 三郎	08789-8-1411
長崎県交通局中央整備工場	854	長崎県諫早市貝津町1481	松平 昌彦	09572-6-1642
東京学芸大学保健管理センター 東京都立柳ヶ丘病院	184 156	小金井市貫井北町4-1-1 世田谷区松原6-37-10	長瀬 又男 藤原 豪	0423-25-2111 323-1621

第 11 回移住者子弟技術研

支 部	地 区	氏 名	性別	年齢	国 籍	本籍地	研修職種
リオ・デ・ジャネイロ	セーラ・ド・カッピン	有田 淳 シュル	男	20	日 本	愛 媛	近郊農業 農協運営
ベレエン	ベレエン	池田 悟 アルマンド	男	24	ブラジル	(福岡)	電 気
	タバナン	大西 ジュゼ	男	20	ブラジル	(宮崎)	食 品 加 工
レシフェ	レシフェ	後藤 真吾	男	24	日 本	大 分	強 電
サン・パウロ	グェタパラ	鈴木 俊一	男	25	ブラジル	(茨城)	果 樹
	アチバイヤ	仲 セルジオ隆幸	男	18	ブラジル	(北海道)	養 鶏
	サンタナ・ド・イアラレー	石東寅雄ウイルノン	男	18	ブラジル	(京都)	畜産・園芸
ブエノス・アイレス	ウルキツサ	永橋 正也	男	20	日 本	高 知	花卉(カーネーション)
	ブルサコ	伊佐ラウル・エドワルド	男	21	アルゼンティン	(沖縄)	花 卉
アスンシオン	アルト・パラナ	矢野 真次	男	27	日 本	福 岡	果 樹
	フラム	野中 孝之	男	23	日 本	高 知	果 樹
	イグアスー	関 節己	男	23	パラグエイ	(群馬)	養 鶏
サンタ・クルス	オキナワ	山内 京美	女	23	日 本	沖 縄	看 護 婦
	オキナワ	井上 悦子	女	20	日 本	沖 縄	〃
	サンファン	松本 伸彦	男	21	日 本	長 崎	農協経理
サント・ドミンゴ	サント・ドミンゴ	吉元 美貴子	女	18	ドミニカ	(鹿児島)	食 品 加 工
リマ	リマ	瀬戸 ホルヘ	男	24	ペルー	(広島)	歯 科 技 工

修生研修機関(後期)一覧表

研 修 期 間	郵便番号	所 在 地	代表者名	電 話
高知県立実践農業大学校	781-21	高知県吾川郡伊野町 波川234	立田 好次	08889-2-3000
三井アルミ工業(株)三池事業所	836	福岡県大牟田市四山町80	苔口富士夫	0944-53-3591
東洋食品工業短期大学	666	兵庫県川西市南花屋敷 4-23-2	高崎 芳郎	0727-59-4221
昭和電気	336	埼玉県浦和市白幡3-11-9	片山 樹	0488-62-1639
農林水産省果樹試験場興津支場	424-02	静岡県清水市興津中町	西浦 昌男	0543-69-2111
豊橋飼料(株)新城養鶏試験場	441-13	愛知県東新城市川田 字本宮1	平野 賢治	05362-3-2551
国際農友会	100	東京都千代田区有楽町1- 13-2 農林中央金庫ビル	斉藤 誠	03-212-0461
農業組合法人香花園	761-16	香川県香川郡塩江町 大字安原下558	真鍋 行雄	08789-7-0478
	673-05	兵庫県三木市志染町 戸田104	馬勝 敏博	07948-7-3958
愛媛県果樹試験場	790	愛媛県松山市下伊台町 1618	山口 勝市	0899-77-2100
高知県立実践農業大学校	781-21	高知県吾川郡伊野町波川 234	立田 好次	08889-2-3000
(株)都丸孵化場	371	前橋市総社町総社2788	都丸 俊一	0272-51-1781
沖縄県立浦添看護学校 大洪第一病院	901-21 902	沖縄県浦添市字当山422 〃 那覇市安里1-7-3	大洪 六栄	0988-77-7747 0988-66-5171
沖縄県立浦添看護学校 宣野湾胃腸科病院	901-21 902	沖縄県浦添市字当山422 〃 〃 真栄原290	大洪 六栄 当間 恵三	0988-77-7747 09889-2-5281
大村市農業協同組合	856	長崎県大村市杭山津 1-863-1	山口 義範	09575-3-6161
東京農業大学(栄養学科)	156	東京都世田谷区桜丘1-1-1	鈴木 隆雄	03-420-2131 (内434)
東京医科歯科大学 第2歯科補綴学教室	113	東京都文京区湯島1-5-45	吉田 久	03-813-6111 (内5240)

第10回移住者子弟技術研

支 部	地 区	氏 名	年令	本籍地	研修職種	研 修 機 関 名
リオ・デ・ ジャネイロ	フンシャル	山 口 哲	23	長 崎	蔬菜栽培 ・経営	農家実習
サンパウロ	ロンドリーナ	村 上 竹 男	28	福 岡	養 蚕	国際農友会
	イビウーナ	清 水 信 良	18	東 京	果 樹 (リンゴ)	長野県農業総合試験場
	パルピアアレグレ	秋 枝 修	21	山 口	電 気	㈱トミナガ電機
ベレーン	エフィゼニオ サーレス	木 場 孝 一	31	鹿 児 島	農協經理 農業機械	西合志町農業協同組合
	トレーゼ・デ・ セテンプロ	黒 田 孝 一	27	熊 本	蔬菜果樹 ・病理	熊本県農業試験場園芸 支場
	第2トメアスー	矢 内 長 徳	23	青 森	重機整備	キャタピラー三菱㈱ 西関東支社
ブエノスアイレス	ガルアペー	松之下ロベルト	22	鹿 児 島	果樹(桃 ・みかん)	沖縄県農業試験場 名護支場
アスンシオン	アルトパラナ	渡 辺 信 夫	25	広 島	レントゲン 検査技術	桜橋渡辺病院
	フ ラ ム	榎 本 義 生	27	和 歌 山	牧畜・ 土壌保全	農家実習
	イ グ ア ス	佐々木 信 孝	21	岩 手	畜 産 (肉牛)	岩手県畜産試験場
サンタクルス	サンファン	野 坂 カオル	24	長 崎	臨床検査 技 術	望月産婦人科医院
	〃	水 島 琢 磨	21	岡 山	養 鶏・ 養 雛 鑑 別	㈱初岡辨別場
	オ キ ナ ワ	幸 地 悦 子	20	沖 縄	農協簿記	東京農業大学農学部 農業経済学科
リ マ	リ マ	秋 山 ファン	26	ペルー	自 動 車 整 備	千葉トヨタ自動車㈱

修生研修機関(後期)一覧表

郵便番号	所 在 地	代表者名	電 話 番 号
835	福岡県山門郡瀬高町大字文広583	井 上 善 夫	09466-2-3632
382	長野県須坂市大字小河原492	浜 島 直 己	02624-6-2411
751	山口県下関市赤間町3-41 アサヒビル	本 幡 昌 義	0832-23-1381
861-11	熊本県菊池郡西合志町野々島4793	上 田 幸 則	09624-2-1163
862	熊本県熊本市尾の上1-39-5 森義博方	森 義 博	0963-81-3040
192	八王子市大和田町1-8-22 キャタピラー三菱㈱八王子寮	堀 米 貞 一	0426-42-4637
905	沖縄県名護市名護4605-3	比 嘉 武 吉	09805-2-2811
530	大阪市北区梅田2-4-32	渡 辺 修 治	06-341-8651
078-17	北海道上川郡上川町旭ヶ丘	阪 本 辰 男	01658-2-1982
020-01	岩手県岩手郡滝沢村大字滝沢第20地割字砂込390	淵 向 正 四 郎	0196-88-4326
410	静岡県沼津市共栄町7-2	望 月 良 夫	0559-22-0800
719-32	岡山県真庭郡久世町大字富尾755	初 岡 太 郎	08674-2-0616
156	世田谷区桜丘1-1-1	鈴 木 隆 雄	03-420-2131
260	千葉市登戸町2-140	鳥 海 一 郎	0472-41-8111

第9回移住者子弟技術研

支部	地区	氏名	年齢	本籍地	研修職種	研修機関名	郵便番号
サンパウロ	グェタバラ	大津 敏一	21	茨城	養畜	佛愛鶏園の玉子	311-34
	イピウーナ	林ルイース伸明	19	(高知)	植物病理	高知県立農業大学校	781-21
	ピリチーバ・ミリン	菅野 弘	23	福島	TV修理	東京芝浦電気株式会社	221
ベレーン	グアマ	吉野 ペドロ 謙	20	(宮崎)	農業機械	都城農業協同組合 中央農機具整備センター	885
	ポルト・ヴェリヨ	須藤 グロリア	23	(福島)	生活改善	福島緑ヶ丘学園 福島ド レスメーカー専門学校	960
リオ・デ・ジャネイロ	フンシャル	小松 滋	24	北海道	果樹	沖縄県立農業試験場名護 支場	905
ポルト・アレグレ	ペロッタス	横山 隆	32	北海道	畜産	熊本県立農業大学校付属 畜産高等研修所	869-23
アスンシオン	イグアス-	上田 時江	26	広島	助産婦	社会福祉法人 聖霊会聖霊病院	466
	"	菅野 忠	26	秋田	養鶏	佛後藤養卵場	500-91
	アルトバラナ	村尾 健朗	24	鹿児島	機械修理	佛MSK東急機械	362
	フラム	松尾 あけみ	21	(高知)	看護婦	土佐准看護学院	780
ブエノス・アイレス	ポンテ・ペドラ	重永 智平	26	山口	バラ栽培	横山バラ園	254
サンタ・クルス	オキナワ	長嶺 マリオ	22	(沖縄)	電気	佛北越工業	157
	"	具志堅 るり子	20	(沖縄)	看護婦	社団法人那覇地区医師会 那覇高等看護専修学校	900
	サンファン	米倉 美智也	22	長崎	旋盤溶接	長崎金属工業協同組合 佛秀工社	854
	"	深浦 伸明	23	長崎	養鶏	福岡県立農業試験場	818
リマ	リマ	森崎 エリザベス	19	-	花卉園芸	(農家実習)	257
	"	丸山 ロベルト	24	-	車輜整備	佛ナガセ	860

修機関(後期)一覧表

所在地	帰国後の連絡先
茨城県東茨城郡小川町千楽1050	CEP 14100 Caixa Postal 1337 Ribeirao Preto Estado de Sao paulo BRASIL
高知県吾川郡伊野町波川234	CEP 18140 Ibiuna Estado de Sao Paulo BRASIL
横浜市神奈川区新子安2-14-10	CEP 08700 Caixa Postal 153 B.Centro Mogi das Cruzes Estado de Sao Paulo BRASIL
都城市都北町5710	CEP 66000 Trav Maurite № 3515 Bairro do Marco Belem Para BRASIL
福島市山居土3	CEP 78900 Caixa Postal 237 Porto Velho Rondonia BRASIL
名護市名護4605-3	CEP 28680 Caixa Postal 54 Fazen Funchal Cachoeiras de Macacu Estado Rio de Janeiro BRASIL
熊本県阿蘇郡阿蘇町大字西湯浦1454	CEP 96100 Caixa Postal 383 Perotas Estado do Rio Grande do Sul BRASIL
名古屋市昭和区川名山町56	Caixa Postal 153 Foz do Yguazu Estado do Parana BRASIL
岐阜市西野町7丁目	Casilla de Correo № 2036 Cerro Cora 1114 Asuncion PARAGUAY
上尾市平塚字塚越2384-1	Casilla de Correo № 64 Encarnacion PARAGUAY
高知市山端町7 細木病院内	Casilla de Correo № 38 Encarnacion PARAGUAY
平塚市田村3053	Casilla 45 Oeste Av. Corrientes 4062 Buenos Aires ARGENTINA
東京都世田谷区北烏山9-23-14	Casilla № 590 Santa Cruz BOLIVIA
那覇市東町26の1	Casilla № 582 Colonia № 1 Santa Cruz BOLIVIA
諫早市具津町工場団地	Casilla № 464 Santa Cruz BOLIVIA
筑紫野市大字上古賀232	Casilla № 464 Santa Cruz BOLIVIA
秦野市下大腹1304	General Garzon 2344 Jesus Maria Lima PERU
熊本市世安町361	Jiron Pastaza № 764 Interior 101 Brena Lima PERU

第8回移住者子弟技術

支部および地区名	氏名	年齢	本籍地	研修職種	研修機関名	郵便番号	
リオ・デ・ジャネイロ	フンシャル	今村真一	22	福岡	畜産	福岡県養鶏場	818-01
サンパウロ	サンパウロ	林田秀房	23	(熊本)	油圧技術	太陽鉄工(株)	533
	"	百合正夫	27	(愛媛)	果樹園芸	長野県農業総合試験場	382
	クリチーバ	高橋アリス	25	(福島)	養魚孵化	石川県増殖試験場	926-02
	モジ・ダス・クルーゼス	田中勝彦	22	香川	食用作物	熊本県農業試験場園芸支場	861-11
ベレーン	マナオス	高野裕弥	25	北海道	自動車修理	苫小牧専修職業訓練校	053
	グアマ	横山富貴子	22	宮崎	生活改善	日本高等国民学校	319-03
ポルト・アレグレ	イタブアン	道田藤吉	20	熊本	果樹園芸	熊本県果樹試験場	869-05
	ラーモス	岩崎正基	22	山口	果樹園芸	岡山県農業試験場	709-08
アスンシオン	アマンバイ	中島義明	29	熊本	農業機械	神奈川県立農業大学校	243-04
	フラム	松岡健	18	高知	農協運営	福岡県農業協同組合講習所	813
	アルト・パラナ	石原由起	17	(兵庫)	医療	聖ヨゼフ病院准看護学院	238
ブエノス・アイレス	ガルアベ	山田陽二	29	広島	花卉園芸	赤塚植物園	514-22
サンタ・クルス	サンファン	近藤勇	18	(新潟)	畜産	農林省十勝種畜牧場	085-05
	"	山口政雄	19	長崎	農業機械	長崎高等職業訓練校	859-06
	オキナフ第1	具志堅進	22	(沖縄)	農業機械	具志川専修職業訓練校	904-22
	オキナフ第3	中村安栄	24	沖縄	電気工事	具志川専修職業訓練校	904-22

研修生研修機関一覧表

所在地	帰国後の連絡先
福岡県筑紫野郡太宰府町大字太宰府	CEP 28680, Caixa Postal № 21, Fazenda Funchal, Cachoeiras de Macaco, Est. do Rio de Janeiro Brasil
大阪府大阪市東淀川区北江口町48番地	CEP 04130, Av. Camilo Castelo Branco № 54, Vila Gumerindo, Sao Paulo Capital, Brasil
長野県須坂市大字小河原492	CEP 18190, Rua José Braga Sobrinho № 157, Pilar do Sul, Est. de Sao Paulo, Brasil
石川県鹿島郡能登島町字曲	CEP 86280, Caixa Postal № 147, Urai, Est. do Parana, Brasil
熊本県菊池郡西合志町須屋2450	CPE 08700, Caixa Postal № 1, Mogi das Cruzes, Est. de Sao Paulo, Brasil
北海道苫小牧市日吉町3丁目4番の1	Av. Taruma № 422, Manaus, Est. do Amazonas, Brasil
茨城県茨城郡内原町1497	№ 3515, Bairro Niarcos, Belem, Para, Brasil
熊本県上益城郡松橋町豊福2566	CEP 90000 a/c Comercial Agricola Semeagro Ltd. № 425, Rua Vitor Valpirio, Bairro Anchieta Porto Alegre, Est. do Rio Grande do Sul, Brasil
岡山県赤磐郡山陽町神田沖1174-1	CEP 89520, Caixa Postal № 161, Curitiba, Est. de Santa Catarina, Brasil
神奈川県海老名市杉久保2006	a/c Coop. Amambay, Caixa Postal № 128, Ponta Pora, Est. de Matto Grosso do Sul, Brasil
福岡県福岡市東区大字名島2751-38	a/c Cooperativa La Paz, Casilla de Correo № 4, Encarnacion, Paraguay
神奈川県横須賀市緑が丘28番地	a/c Agencia de Cooperacion Internacional del Japon, Casilla de Correo № 38, Encarnación, Paraguay
三重県津市高野尾町1868の3	Colonia Lujan Garuhape, Provincia de Misiones, Argentina
北海道阿東郡音更町字中音更	Casilla de Correo № 464, Colonia San Juan, Santa Cruz, Bolivia
長崎県西彼杵郡長与町高田郷	Casilla de Correo № 464, Santa Cruz, Bolivia
沖縄県具志川市字兼箇段1945番地	Colonia Okinwa, Casilla de Correo № 582, Santa Cruz, Bolivia
沖縄県具志川市字兼箇段1945番地	Casilla de Correo № 262, Santa Cruz, Bolivia

第7回移住者子弟技術研修

支部および地区名	氏名	年齢	本籍地	研修職種	研修機関名
リオデジャネイロ	バルバセーナ	市来 清文	27 宮崎	花卉園芸	美香園
サンパウロ	ロンドリーナ	高橋昇ジュリオ	27 (北海道)	養蚕	群馬県蚕業試験場
	イタベチ	土生 誠一	26 宮城	花卉園芸	株式会社小池硝子店
	サンパウロ	樋口 寛	26 熊本	建築施工	戸田建設株式会社
	〃	服部ロウレンソ	23 (秋田)	電話交換機工事	日本電信建設株式会社
	スザノ	上西川原 猛	29 鹿児島	自動車修理	千葉トヨタ自動車株式会社
ベレーン	サンタ・イザベル	三宅 正剛	24 長崎	自動車修理	長崎県交通局中央自動車整備工場
	ポルト・ベリヨ	服部 元	26 東京	農協経理	熊本県信用農業協同組合連合会
レシフェ	サルバドール	平田 繁実	22 長野	電気工事	有限会社梅本電設
アスンシオン	エンカルナシオン	荒瀬 文彦	24 広島	食油精製	日清製油株式会社
	ラ・コルメナ	三井 昭	30 (長野)	果樹園芸	功刀幹治(方)
	イグアス	佐藤 満	21 岩手	農協経理	住田農業協同組合
ブエノス・アイレス	ウルキツナ	西田 克己	25 長崎	花卉園芸	藤田侃司(方)
	ヘネラルパチエコ	光田 友宏	25 (愛媛)	花卉園芸	永田洋蘭園
サンタ・クルス	サンファン	上野 克之	22 長崎	養鶏	石田鉄工株式会社
	〃	川上 啓介	20 長崎	畜産	農林省十勝種畜牧場
	オキナワ第1	安里 マルセロ	21 沖縄	養鶏	沖縄県家畜衛生試験場
サント・ドミンゴ	レモンデ・ジウナ	川代 康夫	24 北海道	畜産	農林省十勝種畜牧場

生研修機関一覧表(後期)

郵便番号	所在地	代表者名	電話番号
732-22	広島県佐伯郡大柿町大原	長坂 五郎	082357-2204
371	群馬県前橋市総社町総社 2326-2	岡部 光波	0272-51-5145
989-02	宮城県白石市字沢目 6番	小池 宗次	02242-6-2376
104	東京都中央区京橋 1丁目3番地 新八重州ビル	戸田 順之助	03-562-6111
108	東京都港区高輪 3丁目 23番 14号	津重 正	03-447-2111
280	千葉県千葉市登戸町 2丁目 140番地	島海 一郎	0472-41-8111
854	長崎県諫早市員津町 1481	平井 寛	09572-6-1642
860	熊本県熊本市南千反畑町 2番 3号	吉永 淳	0963-55-6345
860	熊本県熊本市清水町万石 6番地	梅本 明助	0963-44-2323
235	神奈川県横浜市磯子区新森町 1番地	大島 政志	045-751-1281
400-02	山梨県中巨摩郡白根町西野 2854	功刀 幹治	05528-2-2557
029-24	岩手県気仙郡住田町下有住字十文字	佐藤 博	01924-8-2311
673-02	兵庫県神戸市垂水区平野町福中 147	藤田 侃司	078-961-2101
472	愛知県知立市牛田町芋堀 1番地	永田 一策	0566-81-0041
498	三重県桑名郡木曾町東見入	石田 昭三	05676-5-1155
080-05	北海道河東郡音更町字中音更	中園 信善	015597-31-2
902	沖縄県那覇市古波蔵 112	上里 宣治	0988-32-1515
080-05	北海道河東郡音更町字中音更	中園 信善	015597-31-2

第6回移住者子弟技術研修

支部および地区名		氏名	年齢	本籍地	研修職種	研修機関名
リオデジャネイロ	イタグァイ	畠山幸枝	26	(石川)	生活改善	宮城ドレスメーカー専門学校
サンパウロ	モジ・ダスクルーゼス	米村隆一	20	(熊本)	花卉園芸	熊本県農業試験場園芸支場
	ロンドリーナ近郊	大塚由起子	25	熊本	生活改善	宮城ドレスメーカー専門学校
	グァタバラ	高橋定次郎	26	山形	畜産	山形県立農業経営大学校
	日光	竹田和夫	27	高知	農業機械	神奈川県農業大学校
ベレーン	グアマ	米川洋二	27	熊本	畜産	安達養鶏場
	ベラピスタ	喜納清美	21	(大分)	農業機械	北海道フォードトラクター(株)
	第2トメアスー	四元敏夫	24	宮崎	農業機械	北海道中央農業試験場
レシフェ	レシフェ近郊	岩田健一	25	(長野)	畜産	千葉県畜産センター
ポルト・アレグレ	ラーモス	桑原正行	29	長崎	花卉園芸	北山兄弟バラ園
アスンシオン	イグアス	公文茂男	25	高知	畜産	岡崎牧場
	アルト・パラナ	篠藤喜男	23	愛媛	農協業務	愛媛県農業協同組合研修所
	アマンバイ	岡本深幸	25	兵庫	生活改善	日本高等国民学校
ブエノス・アイレス	ウルキツサ	橋本敬之	29	福岡	花卉園芸	花卉栽培農家
	〃	木村茂	24	群馬	花卉園芸	群馬県園芸試験場
サンタ・クルス	サンファン	畑原等	25	長崎	農業機械	岩見沢機械センター(株)
	〃	吉永末広	24	長崎	農協業務	川副農業協同組合
	オキナワ	山城博明	21	沖縄	畜産	沖縄県家畜衛生試験場

生研修機関一覧表(後期)

郵便番号	所在地	代表者名	電話番号
980	宮城県仙台市春日町9番10号	菅野貞子	0222-22-5221
861-11	熊本県菊池郡西合志町須屋2450	小林研二	09624-2-0167
980	宮城県仙台市春日町9番10号	菅野貞子	0222-22-5221
996	山形県新庄市大字角沢1336	新関信一郎	02332-2-1527
243-04	神奈川県海老名市杉久保2006	和泉清久	0462-21-5274
861-01	熊本県鹿本郡植木町岩野927	安達誠	09627-2-0359
078-02	旭川市永山三条6丁目64番地	高薄達雄	0166-48-1101
069-13	北海道夕張郡長沼町東六線北15	島崎佳郎	01238-9-2311
289-11	千葉県印旛郡八街町滝台	鹿間義之	0472-95-4511
	アメリカ合衆国カリフォルニア州ユニオンシティ	Ted 北山	
780	高知県高知市門行寺169	岡崎正英	0888-72-9496
791-31	愛媛県伊予郡松前町西高柳	岡田慎吾	08998-4-2243
319-03	茨城県東茨城郡内原町内原1497	加藤彌彦	029259-2003
834	福岡県八女市大字忠見384	藤田恵	09432-2-4635
379-22	群馬県佐波郡東村大字西小保方493	中村吉男	02706-2-1021
068	北海道岩見沢市四条15丁目3番地	渡辺一一	01262-2-4421
840-22	佐賀県佐賀郡川副町大字鹿江2304	大坪平	09524-5-5111
902	沖縄県那覇市古波蔵112	上里宣治	0988-32-1515

第5回移住者子弟技術

支部および地区名	氏名	年齢	本籍地	研修希望職種	研修機関名
リオ・デ・ジャネイロ					
ブラジリア	大城竹幸	23	沖縄	観葉鉢物	第一園芸KK富士園芸研修学校
サンパウロ					
日光	有田和人	28	愛知	果樹園芸	山梨県果樹試験場
ピニヤール	広瀬昭憲	22	福井	農業機械	福井県農業試験場
ムンドノーボ	田中愛	18	秋田	生活改善	秋田県農業短期大学
グェタバラ	小林武久	19	長野	畜産(養豚)	長野県畜産試験場
日光	中村清	25	三重	養鶏	三重県農業経営大学校
バレーン					
第2トメアスー	平水繁	26	宮崎	畜産(牧畜)	熊本県草地畜産高等研修所
〃	遠藤憲一	27	福島	〃	福島県畜産試験場
トレーゼテンプロ	須藤毅	21	福島	自動車整備	仙台高等職業訓練校
レシーフェ					
サルバドール	吉井丈治	19	千葉	畜産(牧畜)	群馬県畜産試験場
ポルト・アレグレ					
ラームス	鈴木等	24	北海道	果樹	長野県園芸試験場
アスン・シオン					
イグアス	関節朗	20	群馬	養蚕	群馬県養蚕試験場
アルト・パラナ	工藤則吉	23	岩手	旋盤・電気溶接	盛岡専修職業訓練校
アマンバイ	下元敬	22	高知	畜産	群馬県畜産試験場
ブエノス・アイレス					
ガルアベ	水野悦郎	24	長野	柑橘	静岡県柑橘果樹試験場
ウルキツサ	西田孝	18	長崎	花卉(カーネーション)	長崎県総合農林試験場
サンタ・クルース					
サンファン	牧尾孝司	19	長崎	畜産(牧畜)	長崎県畜産試験場
オキナワ	宮城邦夫	22	沖縄	〃	〃
〃	池原正英	21	〃	〃	〃

研修生研修機関一覧表

郵便番号	所在地	代表者名	電話番号
410-13	静岡県駿東郡小山町上野字下ノ原 1101	佐藤正司	0550-6-0645
405	山梨市万力 1530	大野俊雄	05532-2-1921
910	福井市濱町辺線 52-22	石墨慶一郎	0776-24-5110
010-04	南秋田郡大潟村	佐藤健吉	018545-2026
399-07	長野市塩尻大字片丘 10847	久保田健御	02635-2-1186
515-22	一志郡嬉野町川北	竹内博	059844-2-1258
869-23	阿蘇郡阿蘇町大字西湯浦 1454	寺本一人	09673-2-1231
960-21	福島市荒井字地蔵原甲 18	吉田武紀	024504-4
983	仙台市田子字寺1	鈴木正雄	0222-58-1151
371-01	勢多郡富士見村小暮 2425	大江正直	027288-2222
382	須坂市大字小河原 492	広瀬健吉	02624-5-0295
371	前橋市総社町総社 2326-2	宮沢鉄雄	0272-51-5145
371-01	勢多郡富士見村小暮 2425	大江正直	027288-2222
424	清水市駒越 2712	中間和光	0543-34-5351
854	諫早市貝津町 3118	高木睦夫	09572-2-3330
859	南高来郡有明町湯江丁 3600	宮島良明	0957605-516
〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃

第4回移住者子弟技術

支 部	地 区	氏 名	年 令	研 修 職 種	研 修 機 関 名
リオ・デ・ジャネイロ	イタグアイ	岡崎ソニア・マリア	26	花 卉	(株)赤塚植物園
サンパウロ	グアタバラ	渡辺一寛	25	養 鶏	茨城県養鶏試験場
	日 光	中村 弘	27	養 蚕	群馬県蚕業試験場
	ピニヤール	深沢裕夫	23	果 樹	山梨県果樹試験場
	バルゼア・アレグレ	西山立美	20	農産加工	山口県経済農業協同組合連合会 山口加工場
ベレーン	モンテ・アレグレ	高谷和夫	26	牧 畜	福岡県種畜場
	マナウス	出田洋次	24	自動車整備	熊本県専修職業訓練校
	アカラ	細越卓美	21	"	東京都江戸川高等職業訓練校
レシーフェ	クビチェック	竹並明弘	21	柑 橘	福岡県園芸試験場
	"	神田 晃	19	"	"
ポルト・アレグレ	イタチ	宮崎信輔	28	果 樹	熊本県果樹試験場
アスンシオン	フラム	渡辺保夫	23	農 協	広島県農業協同組合研修センター
	アマンバイ	原本 功	26	"	高知県大方農業協同組合
	アスンシオン	堤田元克	22	果 樹	山梨県果樹試験場
ブエノス・アイレス	アンデス	米 慎也	21	"	"
	ガルアベ	植松吉巻	24	"	農林省果樹試験場興津支場
サンタ・クルース	オキナワ	平良賢次	27	農 協	福岡県農業協同組合講習所
	サンファン	藤井恒正	26	"	"
	オキナワ	幸地哲雄	23	"	"
サント・ドミンゴ	ハラバコア	福永正彦	26	農業機械	佐賀県農業研修学園

研修生研修機関一覧表

郵便番号	所 在 地	電 話 番 号	備 考
514-22	三重県津市高野尾町	0592-26-2851	代表取締役: 赤塚 充 良
311-31	東茨城県茨城町大字小幡字栗林320の3	02929-2-1133	場 長:吉 田 貢
371	前橋市総社町総社2326の2	0272-51-5145	場 長:宮 沢 鉄 雄
405	山梨市万力1530	05532-2-1921	場 長:大 野 俊 雄
759-11	山口市仁保下郷第1771	08392-7-0111	会 長:滝 口 純 雄 工場長:村 本 俊 雄
838-01	小郡市北中尾4839の7	09427-2-2128	場 長:尾 高 従 宣
861-41	熊本市御幸笹田町375	0963-64-1217	校 長:有 働 安 則
132	都内江戸川区中央2-31-27	03-653-1221	校 長:鈴 木 興 一
814	福岡市南区大字柏原571	092-55-1861	場 長:小 原 超
"	"	"	"
861-53	飽託郡河内町船津	096300-24	場 長:西 田 久 仁 穂
730	広島市牛田町早稲田	0822-22-5262	所 長:大 田 黒 亮
789-19	高知県幡豆郡大方町		町 長:小 野 川 俊 二 季 組合長:長 野 正 季
405	山梨市万力1530	05532-2-1921	場 長:大 野 俊 雄
"	"	"	"
424-02	清水市興津中町	0543-69-2111	支場長:千 野 知 長 一 場 長:佐 藤 公 一
813	福岡市東区大字名島字汐見2751の38	092-68-0304	所 長:原 田 猛
"	"	"	"
"	"	"	"
840-22	佐賀郡川副町南里	09524-5-2145	園 長:吉 岡 充 男

第3回移住者子弟

国名	地区名	氏名	年齢	性別	渡航月日	渡航時年齢
ブラジル国	ノボ・フリブルゴ	野口 忠義	24	男	昭和32年3月	8才
同上	ガタバラ	設楽 新作	23	男	" 38年7月	13才
同上	日光	佐々木 哲朗	23	男	" 34年2月	8才
同上	ノボ・ムンド	大塚 寛	22	男	" 32年8月	6才
同上	第2トメアスー	西田 清	21	男	" 41年2月	14才
同上	サンタレン	千葉 京子	23	女	" 29年12月	5才
同上	クビチェック	東 春好	20	男	" 35年3月	7才
同上	イボチ	三輪 新太郎	22	男	" 29年11月	3才
パラグアイ国	アルト・パラナ	永井 儀昭	28	男	" 36年4月	16才
同上	イグアス	渡辺 準一	20	男	" 42年6月	14才
同上	アマンバイ	岡本 儀彦	25	男	" 33年8月	10才
アルゼンチン国	カルアペー	小野 達朗	24	男	" 36年4月	12才
ボリビア国	オキナワ第1	根間 玄真	25	男	" 29年7月	6才
同上	サンファン	長谷 研詞	22	男	" 30年5月	4才
ドミニカ国	ピセンテ・ノーブレ	鈴木 雅	23	男	" 33年5月	9才

技術研修生一覽表

本籍地	研修科目	研 修 先
北海道	花卉	沖奈川県立農業大学校 (篤農家) 大沢春吉 (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
茨城	養蚕	群馬県蚕業試験場 (48.4 ~ 49.9)
愛媛	養蚕	同上
徳島	農協	徳島県農協中堅職員養成所 徳島県石井町農業協同組合 大洋漁業(株) 貿易第2部 (48.4 ~ 48.7) (48.8 ~ 48.11) (48.12 ~ 49.9)
宮崎	農業機械	農林省農業技術研修館 茨城イセキ販売(株)ほか (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
宮城	農産加工	宮城県立上沼農校実習部 清水市農業協同組合 (48.4 ~ 48.11) (48.12 ~ 49.3)
長崎	花卉	長崎県総合農林センター 長崎県大村果樹試験場 (48.4 ~ 48.9) (48.10 ~ 49.9)
静岡	果樹	山梨県果樹試験場 (篤農家) 内田金之助 (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
愛媛	畜産	農林省十勝種畜牧場 群馬県畜産試験場 (48.4 ~ 48.11) (48.12 ~ 49.9)
福岡	畜産	農林省十勝種畜牧場 埼玉種畜牧場 (48.4 ~ 48.11) (49.4 ~ 49.9)
兵庫	農協	兵庫専修職業訓練校 兵庫県姫路農業協同組合 (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
宮崎	果樹	宮崎県立農業大学校 長崎県大村果樹試験場 農林省園芸試験場, 興津支場 (48.4 ~ 48.10) (48.11 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
沖縄	農協	宮崎県立農協講習所 兼松江商(株) (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
長崎	農業機械	農林省農業技術研修館 イセキ・カワサキサービス販売(株) (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
愛知	果樹	愛知県農業総合試験場 (48.4 ~ 49.9)

第2回(昭和47年度)移

国名	地 区	氏 名	生年月日 (年令)	渡 航 年月日	学 歴 (日本) 現 地	本籍地または 父 親 出 身 地
ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ市 パプカイヤ地区	横 山 寛	S 29. 5.16 (18)	2 世	(ー) 中 卒	(父)福島
	サン・パウロ州 ジャカレイ移住地	山 上 としこ	26. 1.26 (21)	S 40. 8	(中3中退) 中1中退	愛 媛
	サン・パウロ州 桜 植 民 地	佐 藤 良 洋	25. 5.26 (22)	38. 1	(中1中退) (ー)	北 海 道
	アマゾンナス州 マナウス市	石 沢 力 雄	22. 8. 9 (25)	29. 4	(ー) 商 高 卒	山 形
	ベルナンブーコ州 リオ・ポニート入植地	森 村 正 隆	17.10.11 (29)	31. 7	(中2中退)	群 馬
	サンタ・カリーナ州 ラーモス移住地	日 浦 秀 雄	20.10.19 (26)	37.10	(中 退)	北 海 道
	イタプア県 フラム移住地	久 岡 寛	16. 6.19 (31)	33. 7	(高1修了) 小4修了	高 知
ボリビア	サンタ・クルース県 オキナワ オキナワ第3移住地	久 高 将 行	24. 8. 3 (24)	36.	(小6中退) 高 卒	神 縄
ドミニカ	ベラビア県 パニ一地区	藤 川 求	22.12.13 (23)	32.10	(小4中退) 高2在中	愛 媛

住者子弟技術研修生一覧表

研 修 機 関	主 な 研 修 内 容
福島県立 小高農業高等学校	蔬菜・園芸・農学一般
堺市養鶏農業協同組合	畜産(ブロイラ養鶏)
神奈川県立 農業大学校別科	花・果樹
座王ハム有限公司	畜産加工(ハム・ソーセージ)
群馬県畜産試験場	蔬菜・畜産
長野県園芸試験場	果樹(リンゴ)
群馬県立 農業大学校蚕業学校	養 蚕
三井物産(株)大阪支店 原綿糸織物部綿花課	① 綿花事情 ② 綿花格付士資格取得 (アメリカ)
雇用促進事業団 愛媛総合高等職業訓練校	農業機械修理

第1回(昭和46年度)移

国名	(推せん支部)	氏名	生年月日 年令	学歴(日本) 現地	本籍地または 父親出身地
ドミニカ	(サントドミンゴ) コンスタンサ	村田千秋	昭和 23.3.14 23才	(小3中退) 中卒	鹿児島県川内町
ブラジル	(ベレン) 第2トメアス	武藤義博	17.4.7 29才	(小卒) 中卒	福島県会津若松市
	(レシーフェ) クビチェック	岡本耕次	25.6.14 21才	(小4中退) 高卒	愛媛県 東宇和郡城内町
	(リオデジャネイロ) フンシャル	池田秀広	27.7.5 19才	(なし) 2世 中卒	広島県深安郡市村
ル	(サンパウロ) グァタバラ	脇山昭治	25.10.28 20才	(小6中退) 工業学校 SENAI (職業訓練コース)卒	佐賀県唐津市
	(サンパウロ) ビニャール	山田豊	23.10.6 22才	(中卒) 小2終了	福井県武生市
ボリビア	(サンタクルス) サンファン	仁田原豊	23.9.4 23才	(小3中退) 高1中退	福岡県八女郡黒木町
パラグアイ	(アスンシオン) エンカルナシオン	安田孝	12.4.3 34才	(大2中退) なし	秋田県仙北郡協和村
アルゼンチン	(ブエノスアイレス) ブエノスアイレス州 カマルテル・カマルト・ モレノ	榎本一穂	27.3.26 19才	(なし) 2才 渡航時 中卒	和歌山県田辺市

住者子弟技術研修生一覽表

研修機関	研修内容
鹿児島県農村センター 高等部園芸科	そ栽培, 午前中講義受講, 午後除草, 消毒, 出荷等実習。研修旅行(ヤンマー長浜研究所で3日間農業用エンジン分解・組立実習, 長野県富田中央農場, 京都タキイ種苗見学)。
福島県立農業短期大学 協同組合科	農業経済, 農業簿記, 農協原論, 農協経営論, 農業法規, 農業機械等講義受講。研修旅行(静岡県三ヶ日農協他2ヶ所)。県内湯野農協等で実習。
愛媛県果樹試験場南子分場	講義~落葉果樹, 病虫害防除, 土壌肥料, 柑橘栽培等。 実習~夏柑採果, 除草, 薬剤散布, 落果調査等。 落葉果樹研修。
広島県立西条農業高等学校 広島県食品工業試験場	果物の成分検査, イチゴジャム, ママレードの加工実習, トラクター運転実習。工場見学(三島食品)7/26~8/31 県食品工業試験場で研修(農産物加工製造技術および同分析法の課程終了)
佐賀県養鶏試験場	養鶏経営(衛生, 繁殖, 育種等)を中心とした講義受講。解体, 飼料配合等の実習。全販連佐賀種鶏場における雛卵舎, 育雛舎, 病理解体等の場外実習。
福井県農業後継者センター 本科畜産専攻	乳牛飼育について午前中講義, 午後実習。5/24から1ヶ月間農家実習(乳牛)7/19~24第2回全国農村青少年研修交換大会(於 八ヶ岳)に参加。
福岡県養鶏場	衛生面を主体に育雛管理, 防疫, 解剖等の実習。飼料, 設備, 交配等専門的分野の講義受講。9月より2ヶ月間民間養鶏場で実習(飼育管理の実際, 販売流通システム等)。
秋田県立金足農業高等学校 農協専攻科	農協法, 農業経済, 簿記等講義受講。7/23~29 県経済連で各支部実習。金浦農協等県内農協で実習。8/10~13 埼玉県川口市内で農業研修
和歌山県農業大学校 園芸科花卉部門	農業経営, 果樹, 作物, 畜産, 農業機械等講義受講。 サルビア, マリーゴールド, ベコニア等の育苗, 定植その他の花卉実習。

JICA

